SONY

EDベータビデオデッキ

EDV-5000

取扱説明書

ED Beta

目次

3-769-681-01(1)

主な特長…… 2
お使いになる前に…… 3
各部の名称と働き…… 4
カセットの入れかた…… 10

操作
テレビ番組の録画…… 12
テープの再生…… 16
特殊画像のつくりかた(デジタルピクチャー)…… 19
オーディオ録音…… 24
衛星放送のタイマー録画/録音…… 26
タイマー録画(留守録画など)…… 28
クイックタイマー録画…… 34
カウンターの活用…… 36
カメラ録画…… 38
テープ編集…… 40
他の機器との組み合わせ使用…… 42

準備
①アンテナの接続…… 44
②コンセントへの接続…… 49
③ビデオ用チャンネルの設定…… 50
④時計合わせ…… 52
UHF放送を受信するには…… 54

その他
EDベータフォーマットについて…… 56
主な仕様…… 58
故障かな?…… 59
保証書とアフターサービス…… 61
早わかり…… 裏表紙

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

主な特長

映像の忠実な記録、再現を可能にした

EDベータ

Y(輝度信号)/C(色信号)分離により高画質映像を再現する

S映像入出力端子

衛星放送のタイマー録画/録音ができる

BS ON LINE スイッチ付き

(ビーエス オン ライン)

フラッシュモーション、ストップモーションなど特殊画面が楽しめる

デジタルピクチャー

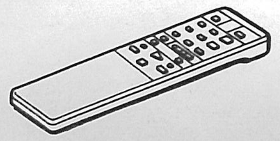
静止画、スロー再生、ピクチャーサーチ、高速アクセス、デジタルスキャンがきれいな

デジタル特殊再生

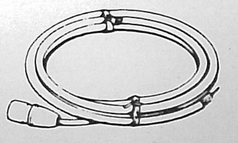
高級オーディオ機器に迫る音質

ベータハイファイ録音

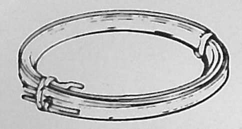
付属品 お使いになる前にお確かめください。



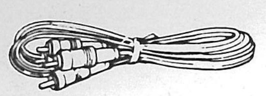
リモートコマンダーRMT-166(1)



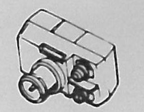
F型コネクター付き同軸ケーブル(1)



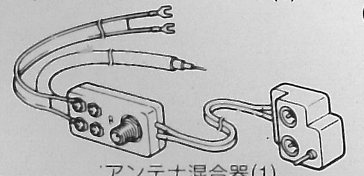
300Ωフィーダー線(1)



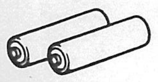
接続コード (ピンプラグ2↔ピンプラグ2)(1)



アンテナ整合器(1)



アンテナ混合器(1)



単3型乾電池(2)

ネジ(4)、クリーニングカセット(1)、接続コード(4ピンミニDIN↔4ピンミニDIN)(1)、取扱説明書(1)、使用上のご注意(1)、サービス窓口、ご相談窓口のご案内(1)、保証書(1)

必ずお読みください

●大切な録画の場合は、必ず事前にためし録りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

●ビデオデッキやテープなどを使用中、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。

あなたが放送やレコード、録音物、実演などを録音または録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

お使いになる前に

録画・再生について

●このビデオはEDベータ方式のビデオです。ED Beta マークまたはβマークのついたビデオカセット以外は使用できません。

●このビデオで可能な録画・再生モード

EDベータ方式	ED Beta マークのついたビデオカセット	録画可能なモード	βII、βIII
		再生可能なモード	βII、βIII
ベータ方式	βマークのついたビデオカセット	録画可能なモード	βII、βIII
		再生可能なモード	βI ,βI s,βII ,βIII

βマークのついたビデオカセットをお使いのときは、EDベータ方式での録画・再生はできません。

●EDベータ方式とベータ方式の切り換えは、入れたカセットの種類（ED Beta カセット、βカセット）により、本機で自動的に行なわれます。

●本機でEDベータ方式の録画をする場合、HI-BANDスイッチは働きません。

●外国製ビデオソフトは、テレビの放送方式が異なるため、このビデオで、再生できないものがあります。

従来の録音方式との関係

●このビデオはベータハイファイ方式で音声を記録できます。従来方式のノーマル音声トラックには、モノラルで記録されます。

●このビデオで記録した音声を従来方式のビデオで再生するとモノラルになります。

●従来方式のビデオで記録した音声を、このビデオで再生すると、モノラルになります。従来方式のノーマル音声トラックの音声がステレオのときはモノラルに、また二重音声のときは、主・副音声が同時に再生されます。

ハイバンド(高画質)モードについて βカセットを使用の場合のみ

録画のとき

●HI-BANDスイッチを「ON」の位置にして録画すると、画像の細部にわたって再現性を向上させる高画質回路が働きます。

●ハイバンドスイッチのないビデオデッキで再生すると予定があるときは、HI-BANDスイッチを「OFF」にして録画してください。

再生のとき

●HI-BANDスイッチを「ON」の位置にして録画したテープは「ON」で再生し、「OFF」で録画したテープは「OFF」で再生します。

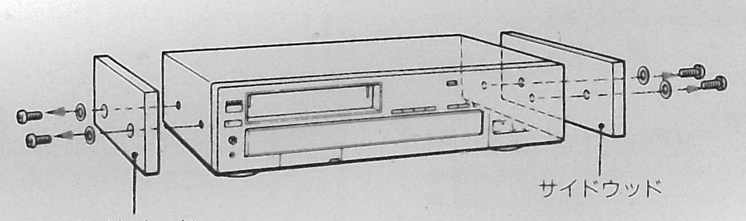
●βIモードで録画したテープは「OFF」で再生してください。

●βIsモードで録画したテープは、「ON」で再生してください。

●「ON」の位置で録画したテープを、ハイバンドスイッチのないビデオデッキや同スイッチ「OFF」で再生すると、画面にノイズが出ることがあります。

サイドウッドの取り外しかた

本機にはサイドウッドが取り付けてあります。不要な場合は外してください。外したときは、付属のネジでキャビネットにとめてください。(付属のネジ以外のネジを使うと故障の原因になります。必ず付属のネジをお使いください。)



名部の名称と働き ●内のページにくわしい説明があります。

前面

COUNTER RESETボタン ㊱

TAPE RETURNボタン ㊱

TV/VTR(テレビ/ビデオ アンテナ切り換え)ボタン ⑬
(裏面のVHF/UHF端子使用時)
ビデオ側で選んだ番組を見るとき:押して表示窓に VTR 表示を出します。
テレビ側で選んだ番組を見るとき:押して VTR 表示を消します。

カセット挿入口

PEAK PROGRAM METER ㉔

POWER(電源)スイッチとランプ

EJECT(カセット取り出し)ボタン

LEVEL(ヘッドホン音量調節)つまみ

PHONES 端子
(ステレオミニジャック)
ヘッドホンをつなぎます。

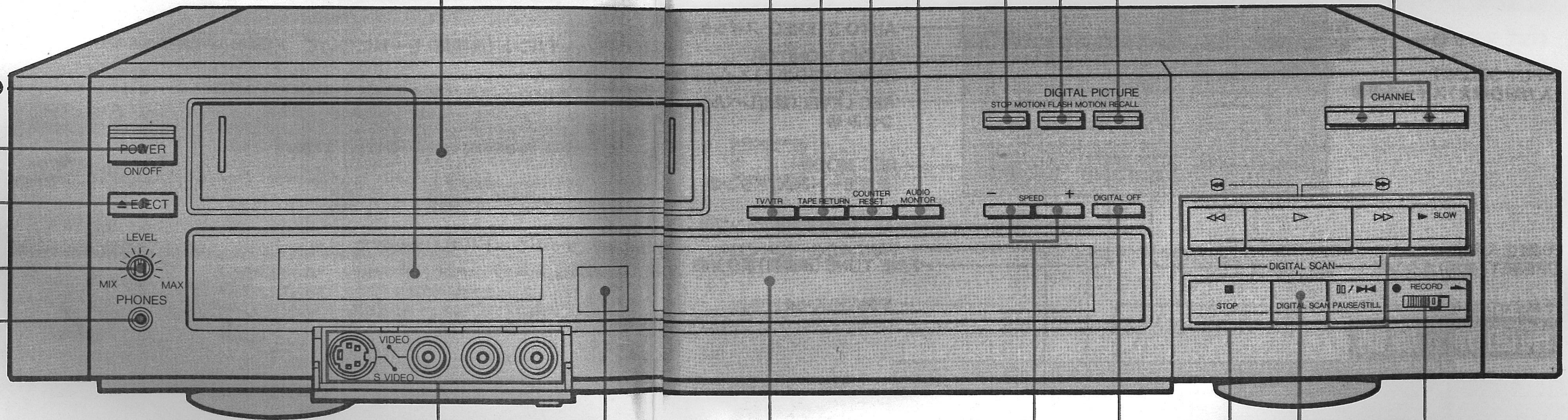
AUDIO MONITOR(音声主/副切り換え)ボタン ⑭

STOP MOTIONボタンとランプ ⑳

FLASH MOTIONボタンとランプ ㉑

RECALL(呼び出し)ボタンとランプ ㉒

CHANNEL +/− ボタン ⑬



DIGITAL SCAN ボタン ⑱

リモコン受光部

LINE IN 2 S VIDEO/VIDEO/AUDIO
(ライン入力2 S映像/映像/音声)端子

表示窓

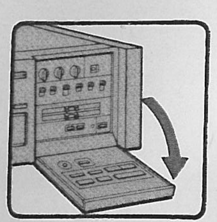
SPEED +/−
(フラッシュモーション速度切り換え)
ボタン ㉑

DIGITAL OFF(デジタルピクチャー解除)ボタン ㉑㉒㉓

テープ走行ボタン ⑯⑱
◀◀(巻き戻し)、▶(再生)、▶▶(早送り)、
■(停止)、❚❚/▶◀(一時停止/静止画)、❚▶(スロー再生)

RECORD(録画)スイッチ ⑬

前面扉―本体側



TRACKING (NORMAL/SLOW)つまみ⑰

BS ON LINE スイッチ㉗

SHARPNESS つまみ⑰

HI-BANDスイッチ⑮

EDIT スイッチ㊶

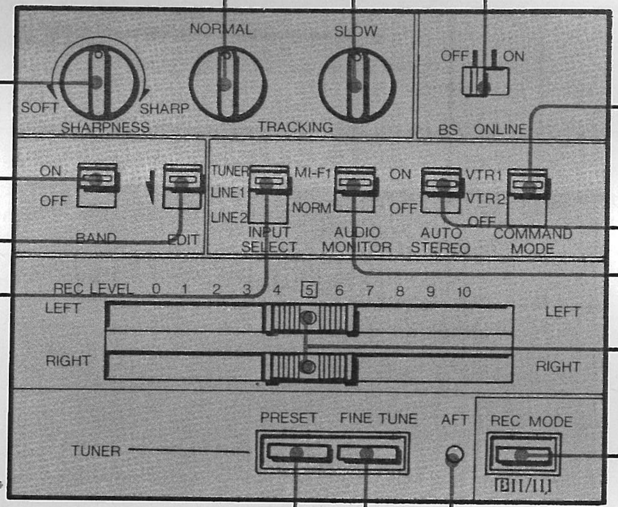
INPUT SELECT (入力切り換え)スイッチ⑫㉕

COMMAND MODE (リモコンモード切り換え)スイッチ⑨

AUTO STEREO スイッチ⑭

AUDIO MONITOR (音声出力切り換え)スイッチ⑰

REC LEVEL(録音レベル) つまみ㉔



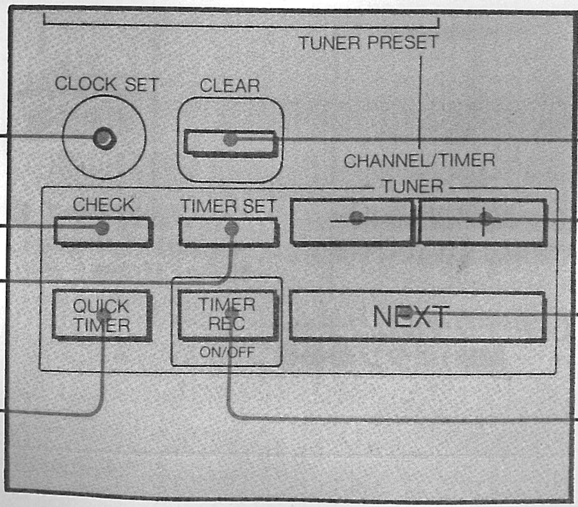
REC MODE (録画モード選択)ボタン⑫

AFT(自動微調整)ランプ(54)

PRESET (選局)ボタン(54)

FINE TUNE (微調整)ボタン(54)

前面扉―扉側



CLOCK SET(時計合わせ)ボタン(52)

CHECK(タイマー予約確認)ボタン㉛

TIMER SET(タイマー予約)ボタン㉘

QUICK TIMERボタン㉞

CLEAR ボタン㉛

CHANNEL/TIMER, TUNER+/−ボタン㉘

NEXT(送り)ボタン㉘

TIMER REC(タイマー録画)ボタン㉙

表示窓

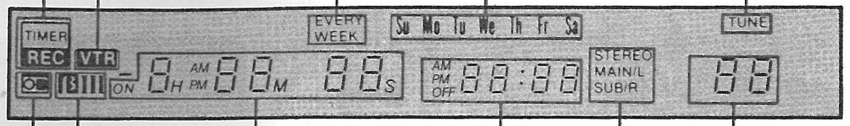
チャンネル入れ換え時の表示

タイマー予約済表示

毎週表示

VTR表示

曜日表示



カセットマーク

録画モード表示

時計、タイマー録画終了時刻表示、または、チャンネル入れ換え時の受信チャンネル範囲、チャンネルの順番

チャンネル数

タイムカウンター、またはタイマー録画予約番号と開始時刻表示

ステレオ放送、二重音声放送 主・副表示

裏面

基本の接続については㊹〜㊽ページをご覧ください。

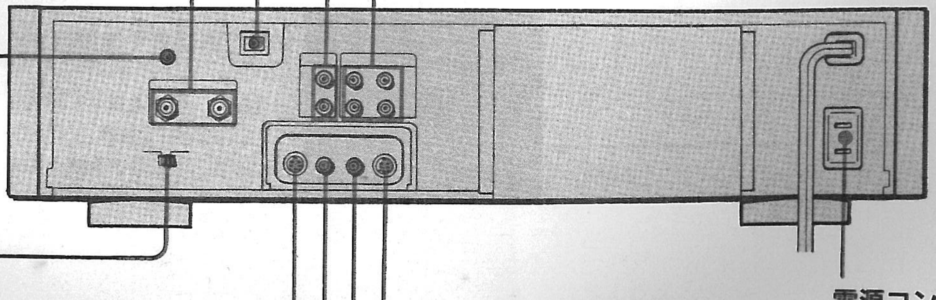
コントロールS入力端子 (ミニジャック)

音声入力1端子 (ピンジャック)

VHF/UHF入出力端子

音声出力1/2端子 (ピンジャック)

アンテナ混合器用端子



チャンネル切り換えスイッチ

電源コンセント (連動/非連動最大400W)

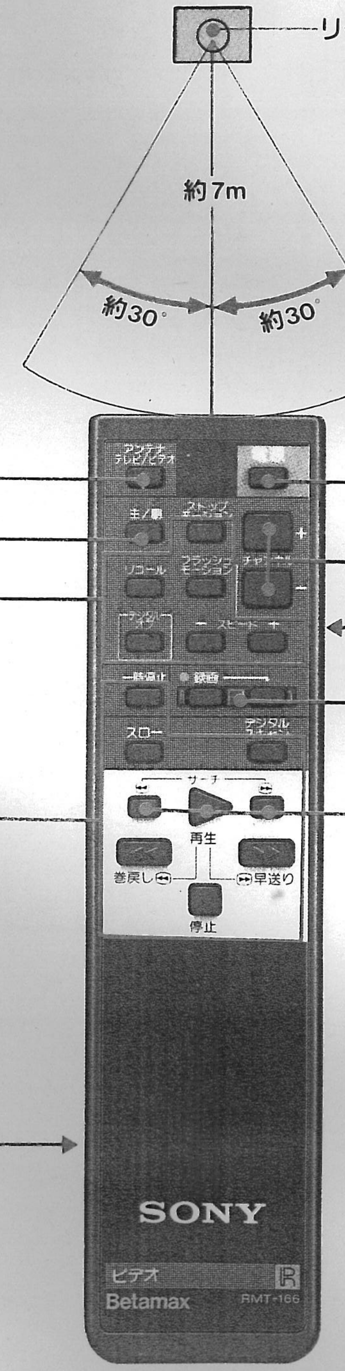
S映像入力1端子 (4ピンミニDIN)

S映像出力端子 (4ピンミニDIN)

映像入力1端子 (ピンジャック)

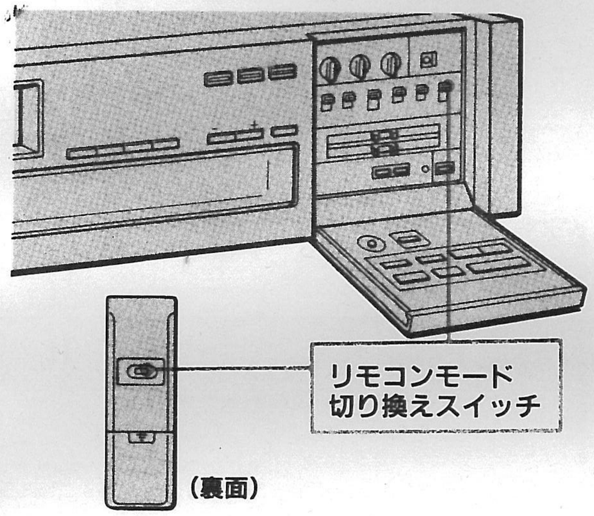
映像出力端子 (ピンジャック)

リモコン　本体の同名ボタンと同じ働きをします。



リモコンモード切り換えスイッチの設定

ビデオとリモコン双方のリモコンモード切り換えスイッチを同じ位置にします。



	ビデオ側	リモコン側
例1	VTR1	VTR1
例2	VTR2	VTR2

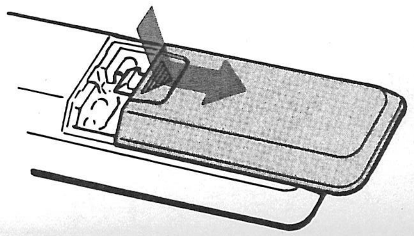
リモコンで動作させたくないときは、ビデオ側のスイッチをOFFにしてください。このときは、裏面のコントロールS端子も動かなくなります。

付属のリモコンを他のビデオに使うには

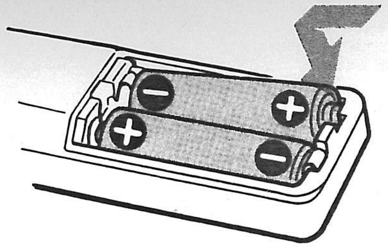
他のベータマックスビデオデッキと本機を、付属のリモコンで操作するには、本機をVTR2、他をVTR1にしておけば、付属のリモコンのモードを切り換えるだけで、2台のビデオデッキを別々にコントロールできます。
なお、付属のリモコンを他のビデオに使うときに働くボタンは、それぞれのビデオの機能によって限定されます。
リモコンモード切り換えスイッチのないビデオデッキはVTR1モードでお使いください。
8mmビデオはVTR2モードでお使いください。

電池の入れかた

1 ふたを開ける。



2 付属の乾電池単3型2個を⊕ ⊖正しく入れ、ふたをしめる。



電池の交換時期

ふつうの使いかたで約6か月もちます。

リモコンについてのご注意

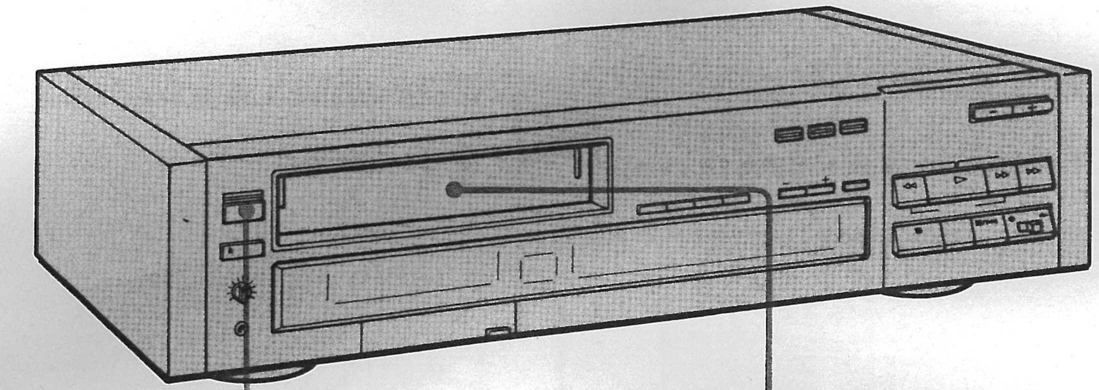
- リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。
- 本機裏面のコントロールS入力端子に、ソニーのシステムコントロールチューナーやプログラムタイマーなどのビデオコントロール出力端子をつなぐと、その機器から本機を操作できます。

乾電池についてのご注意

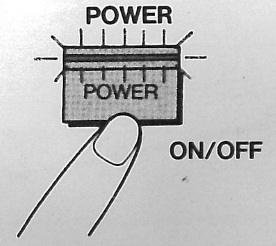
乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことは必ずお守りください。
- ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使用した乾電池、または種類のちがう乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は充電できません。
- 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。

カセットの入れかた

EDBeta または β マークのついたカセットをお使いください。

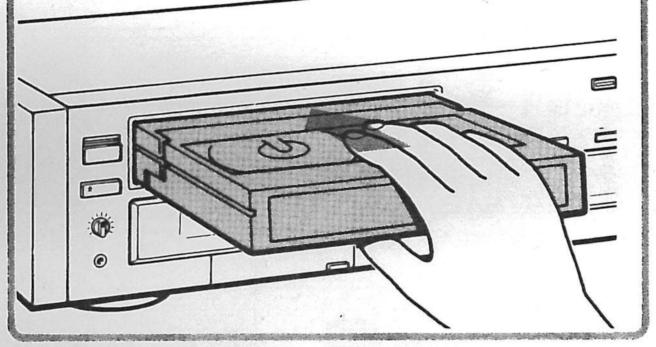


1 電源を入れる。



2 カセットを、矢印を上にして入れる。

自動的に入り始めたら手を離す。



電源が入っていなくても、カセットを入れると自動的に電源が入ります**（オートパワーオン）**。このとき、カセットのツメが折れていると、自動的に再生になります。

ご注意

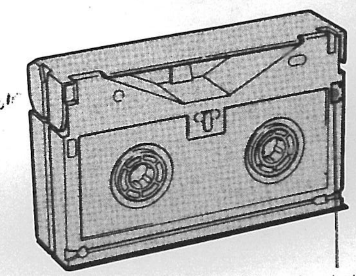
小さなお子様がカセット挿入口に手を入れないようにご注意ください。けがをする場合があります。

カセットを取り出すには

⏏EJECTボタンを押す。
（録画中は■STOPボタンでテープを止めてから⏏EJECTボタンを押してください。）
電源が切れていても、⏏EJECTボタンを押すと自動的に電源が入り、カセットが出てきます**（ダイレクトイジェクト）**。カセットが出てくると、また自動的に電源が切れます。

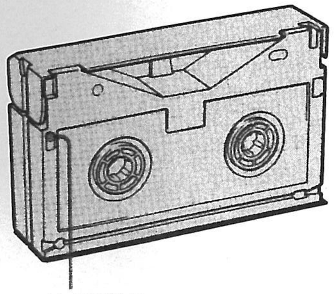
大切なテープの録画を誤って消さないために

EDBeta 方式カセット



赤いボタンを、止まるところまで押し込む。
再録画するには、ボタンを元の位置に戻します。

従来の β 方式カセット



ツメを折る。
再録画するには、穴をセロハンテープなどでふさぎます。

EDBeta カセットは従来の β 方式のビデオデッキに使用することはできません。
EDBeta について詳しくは56ページをご覧ください。

カセットの種類と録画・再生時間

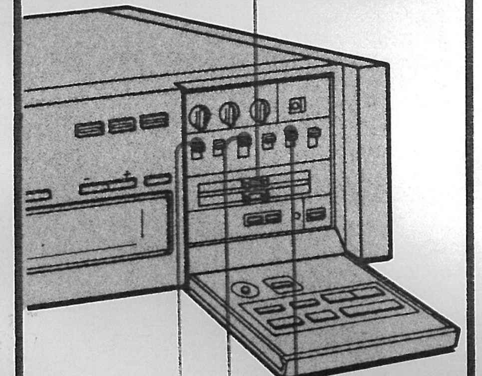
カセットの種類		録画モードと時間		
		βI/βIs(再生のみ)	βII	βIII
β	L-830	100分	200分	300分
	L-750	90分	180分	270分
	L-660	80分	160分	240分
	L-500	60分	120分	180分
	L-370	45分	90分	135分
	L-330	40分	80分	120分
	L-250	30分	60分	90分
	L-165	20分	40分	60分
	L-125	15分	30分	45分
	L-85	10分	20分	30分
EDBeta	EL-500	——	120分	180分
	EL-250	——	60分	90分

録画	REC MODEボタンを切り換えて録画時間を選ぶ。
再生	自動的に切り換わる。

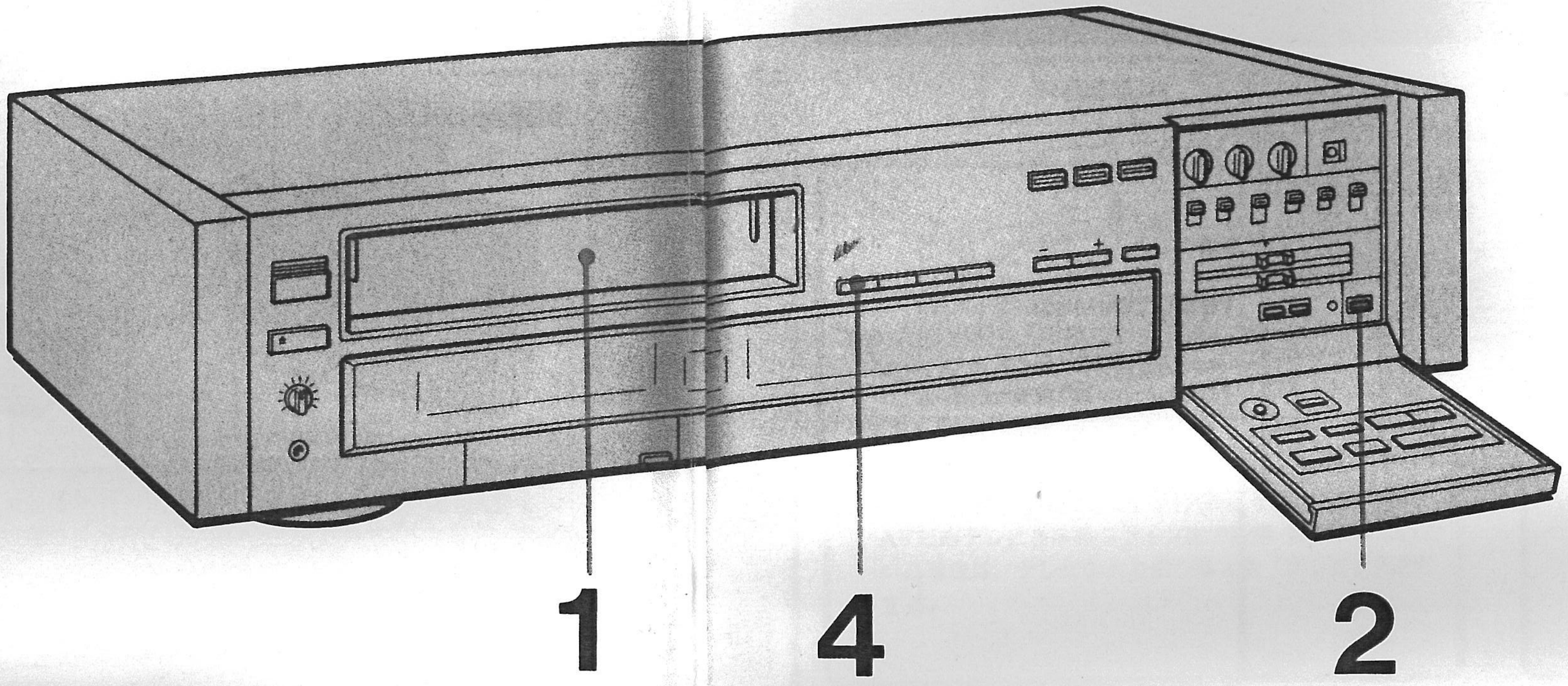
テレビ番組の録画

準備

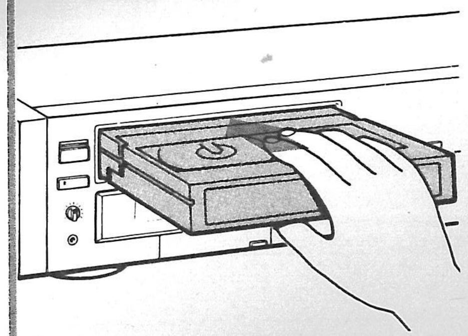
スイッチ類の位置を合わせる。



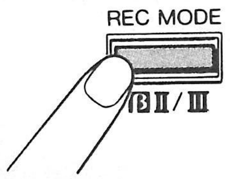
音はベータハイファイ方式と従来方式ノーマル音声(モノラル)の両方で録音されます。



1 カセットを入れる。
(自動的に電源が入る。)



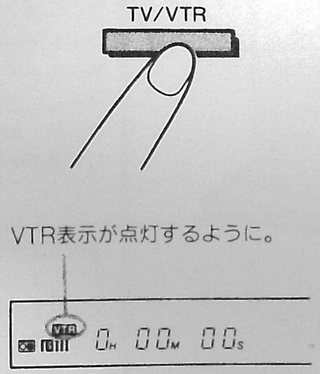
2 録画時間(βII/βIII)を決める。



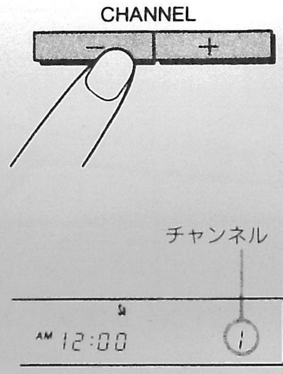
3 テレビの電源を入れ、ビデオ用のチャンネル(1または2)にする。

AV対応テレビの場合は「ビデオ」入力にする。

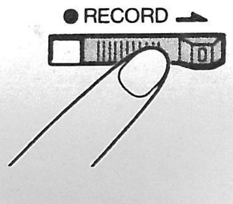
4 TV/VTRボタンを押す。



5 チャンネルを選ぶ。



6 ●RECORDスイッチを右に押す。



- ●ランプが点灯し、録画が始まります。
- ●テレビやモニターの電源を切っても、録画できます。

録画を一時的に止めるには ❚❚/▶◀ PAUSE/STILLボタンを押す。

録画を再開するときにはもう一度押す。
(8分以上一時停止状態が続くと自動的に停止状態になる。)

録画を止めるには ■STOPボタンを押す。

テープの終わりまで録画すると

自動的にテープが最初まで巻き戻されて止まります(オートリワインド)。
電源は入ったままです。

従来のベータ方式のビデオデッキで再生する予定があるとき (βカセットを使用の場合)

- ●HI-BANDスイッチの位置を確認してください。(15ページ参照)
- ●本機ではテープの始めから録画するとき、他のビデオデッキ(SL-J20、J30など)より少し手前から録画が始まります。録画開始の前にテープを少し送って(βIIで約10秒、βIIIで約15秒)おけば、他のビデオデッキで再生するときに頭が欠けることはありません。

TV/VTRボタンの使いかた

見たい番組に応じて、TV/VTRボタンを押して表示窓のVTR表示をつけたり、消したりします。

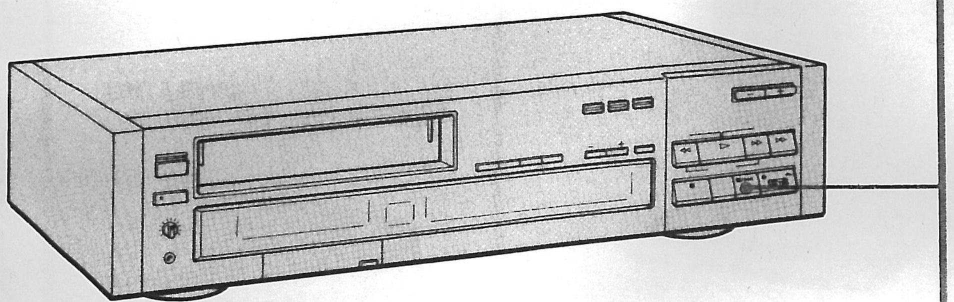
見たい番組	VTR表示
ビデオで選んだチャンネル	点灯。
テレビで選んだチャンネル	消す。
テープ再生のとき	自動的に点灯。(ボタンを押す必要はない。)

AV対応テレビに接続しているとき

- ●テレビの1または2チャンネルを選ぶ必要はありません。AV対応テレビで「ビデオ」を選ぶと、ビデオからの画像を見ることができます。(接続は16ページ参照)
- ●AV対応テレビをつなぐときのため、TV/VTRの自動切り換えを行わなくすることができます。
  POWER OFFの状態で、TV/VTRボタンを押しながらPOWERスイッチを押します。表示窓のVTR表示が点滅して受け付けたことを知らせます。これでTV/VTRボタンは、手動切り換えになり、テープ再生をしてもVTR表示は点灯しません。
  自動切り換えにもどすには、再度POWER OFFからTV/VTRボタンを押しながらPOWERスイッチを押します。

つなぎ録りするには

コマーシャルなど、不要な部分をカットしながら
録画することができます。

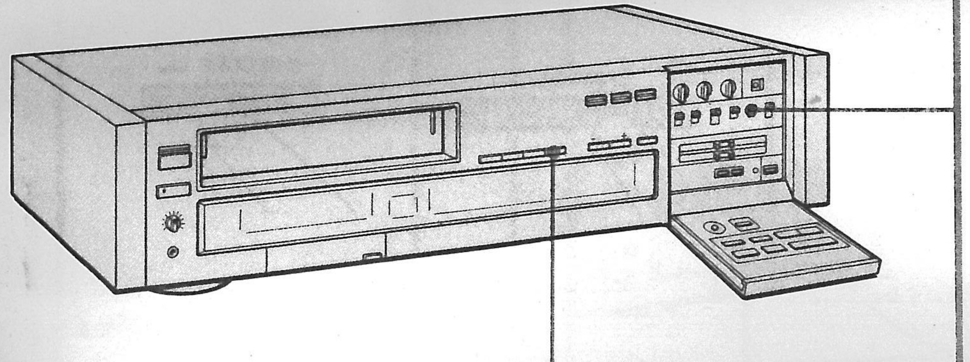


録画中に…

1 録画したくない場面になったら
II/ ⧓PAUSE/STILLボタンを押して録画一時停止状態にする。

2 録画したい場面になったら
再びII/⧓PAUSE/STILLボタンを押して録画を始める。

音声多重放送を記録するには



AUDIO MONITOR ボタン

2か国語放送を受信のときスピーカーから聞こえる音を選ぶ。

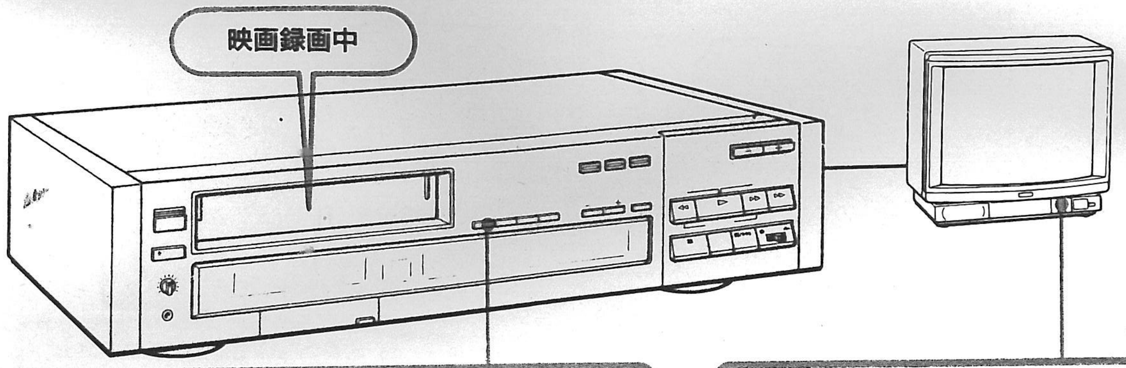
表　示	きこえる音
MAIN/L	主音声
SUB/R	副音声
MAIN/L SUB/R	主/副音声

AUTO STEREOスイッチをONにしておくと
ステレオでベータハイファイ記録される。
従来トラックはモノラルなので、ステレオ放送はモノラル(左/右混じった音)で、2か国語放送は主音声のみが従来方式で記録される。
再生時に**AUDIO MONITOR**スイッチで聞きたい音声を選ぶことができる。

OFFにしておくと
ステレオ放送はモノラルで記録される。
二ヶ国語放送は左が主音声、右が副音声で記録される。

ご注意
つなぎ録り部分を再生すると、虹のような色じまが出ることがあります。

録画中に別の番組を見るには



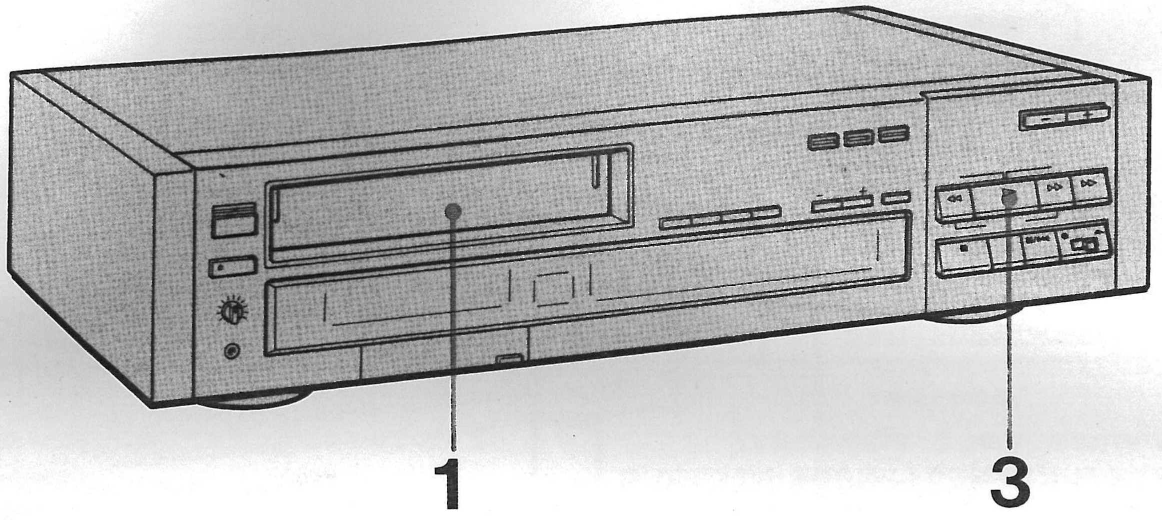
1 TV/VTRボタンを押して、VTR表示を消す。
AV対応テレビを本機のライン出力映像・音声につないでいる場合は、テレビの入力切り換えを「テレビ」入力にする。

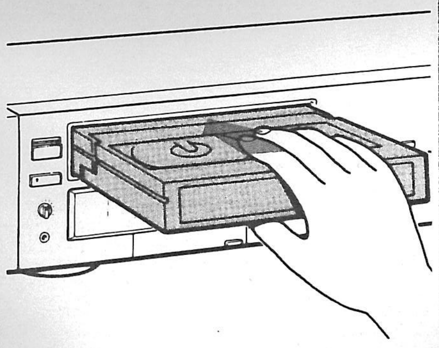
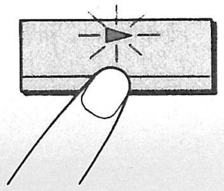
2 テレビのチャンネルボタンで見たい番組を選ぶ。

HI-BANDスイッチについて（βカセットを使用の場合のみ働きます）

- ハイバンドモードで録画したいとき→ON
- ハイバンドスイッチのないビデオデッキで再生する予定があるとき→OFF

テープの再生



1 カセットを入れる。 (自動的に電源が入る。)	2 テレビの電源を入れ、ビデオ用のチャンネル(1または2)にする。	3 再生を始める。
	AV対応テレビの場合は「ビデオ」入力にする。	電源が切れているときにツメの折れたカセットを入れた場合は自動的に再生が始まります。 

再生を止めるには ■STOPボタンを押す。

テープの終わりまで再生すると

自動的にテープが最初まで巻き戻されて止まります(**オートリワインド**)。電源は入ったままです。

テープを早く送るには ▶▶ FFボタンを押す。

テープを巻き戻すには ◀◀ REWボタンを押す。

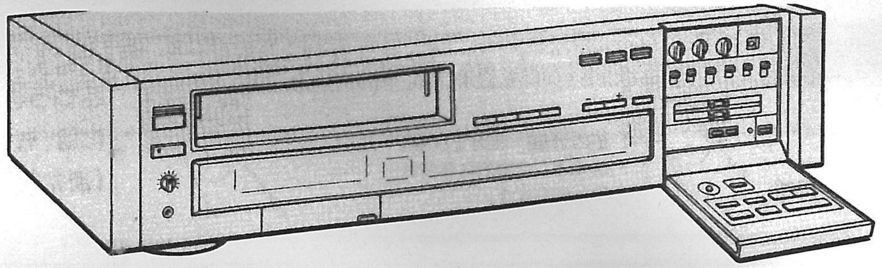
ご注意

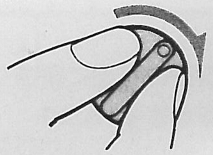
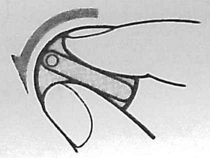
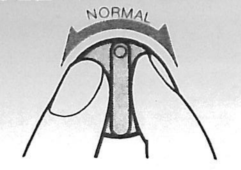
録画を始めた部分で画像が乱れたり、虹のような色縞ができることがあります。

HI-BANDスイッチを次のように切り換えます。(ß カセットを使用した場合)
●本機で録画したテープを再生するとき→録画時と同じ位置
●ßI sモードで録画したテープのとき→ON
●ハイバンドスイッチのないビデオデッキで録画したテープのとき→OFF

HI-BAND スイッチ ON で録画したテープを OFF で再生したり、ハイバンドスイッチのないビデオデッキで再生するとノイズが出ることがあります。

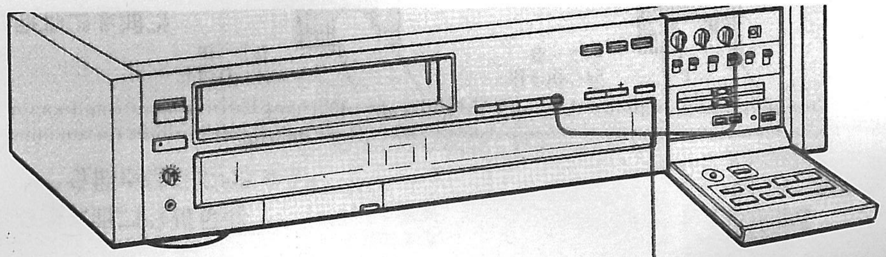
画像の調節



画像をはっきりさせたいときは	画像をやわらかくしたいときは	画像が曲ったり白くチラつくときは
SHARPNESSつまみをSHARP側に回す。	SHARPNESSつまみをSOFT側に回す。	TRACKING NORMAL調節つまみを回して、最適な画像になるようにする。再生が終わったら、まん中のカチッと止まる位置に合わせて標準状態に戻す。
 SHARP	 SOFT	 NORMAL

音声多重放送テープの再生

ベータハイファイ方式で記録した音声多重放送のテープを再生するとき、AUDIO MONITORスイッチとAUDIO MONITORボタンで聞きたい音声が選べます。



AUDIO MONITORスイッチとAUDIO MONITORボタンの位置		聞こえる音声	
		ステレオ放送を録画したテープ	二重音声放送を録画したテープ
HI-FI	AUDIO MONITOR STEREO	ステレオ	主音声(左スピーカー)と副音声(右スピーカー)*
	AUDIO MONITOR MAIN L	左チャンネル	主音声
	AUDIO MONITOR SUB R	右チャンネル	副音声

*テレビ放送受信時は主音声だけが聞こえます。

ステレオ放送を楽しむには

お手持ちのテレビが音声多重対応できないときは、本機にヘッドホンやステレオ装置をつないでお聞きください。

従来のノーマル音声トラックの音を聞くには

AUDIO MONITORスイッチをNORMALにします。(AUDIO MONITORボタンの操作にかかわらず従来のノーマル音声トラックの音が再生されます。)

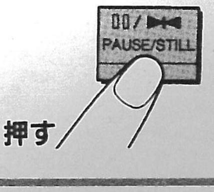
ご注意

●音声多重回路内蔵のテレビをアンテナ線だけでつないでいる場合(音声ライン入出力につないでいない場合)は、ステレオシステムを組み合わせないと、ステレオまたは二重音声で聞くことができません。
●従来方式のビデオで記録したステレオテープはモノラルで、二重音声テープは主副混じった音で再生されます。

特殊再生　リモコンでも、オートプレイを除く下記の操作ができます。

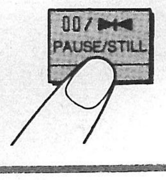
再生中に

画像を止めて見るには
デジタル静止画



押す

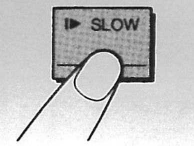
約8分間一時停止状態が続くと、自動的に再生状態に戻ります。



ふつうの再生に戻すには、もう一度押す。(または▶を押す)

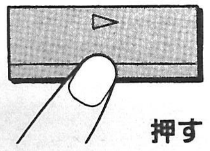
再生中に(または静止画中に)

スロー画像を見るには
デジタルスロー再生



押す

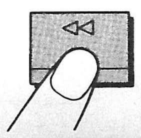
ふつうの再生に戻すには



押す

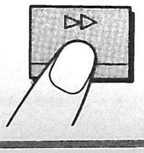
画像を見ながら早送りや巻き戻しをするには
デジタルピクチャーサーチ
固定ピクチャーサーチ(リモコン)

巻き戻すには



押す

早く送るには



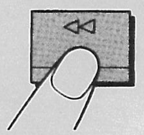
押す

ふつうの再生に戻すには
指を離す(本体)
▶を押す(リモコン)

早送り・巻き戻し中に

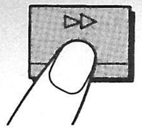
画像を見るには
デジタル高速アクセス

巻き戻し中に



もう一度押し続ける。

早送り中に

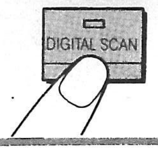


もう一度押し続ける

ふつうの早送り、巻き戻しに戻すには指を離す

高速で画像を見るには
デジタルスキャン

デジタルスキャン

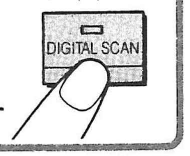


押す

高速の画像が見られます。

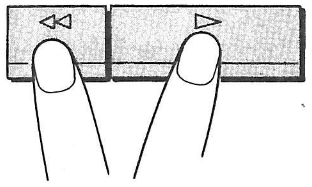
ふつうの早送り、巻き戻しに戻すには

デジタルスキャン



押す

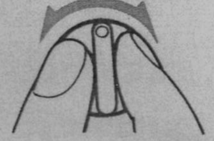
テープの始めまで巻き戻してから自動的に再生するには
オートプレイ

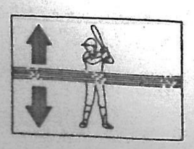


◀◀REWボタンを押しながら
▶PLAYボタンを押す。

画面がチラつくときは

●スロー再生中、画面に帯状のチラつきが見えるときは、前面扉内部のTRACKING SLOW調節つまみを回しながら帯を動かして最良の状態にしてください。





● ⅢI sまたは ⅢI モードの場合はチラつきが残ります。
●再生が終わったら、まん中のカチッと止まる位置に合わせて、標準位置に戻してください。

スロー画面がタテに乱れるときは

TRACKING SLOW調節つまみを回して、乱れがもっとも少なくなるところに調節してください。

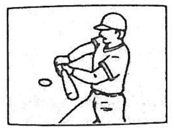
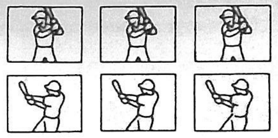
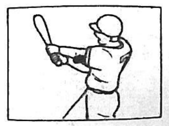
ご注意

●ピクチャーサーチ、高速アクセス、デジタルスキャンの操作時、動きの速い画面では、画面が多少ずれたり揺れたりすることがあります。
●通常の再生からスロー再生、またはスロー再生から再生に切り換えるとき、一瞬画面にノイズが出ることがありますが、故障ではありません。

特殊画像のつくりかた(デジタルピクチャー)

ビデオやテレビの画像をデジタル信号処理して記憶し、再生するのがデジタルピクチャー機能です。ビデオを再生しているときや、テレビ番組を見ているときに、画像効果を作り出すことができます。

本機で見られるデジタルピクチャー

ストップモーション	画像を希望のところで止めて見ることができます。		⑳ページ
フラッシュモーション	画像を、一定間隔の静止画として見ることができます。		㉑ページ
リコール	ストップモーションなどでメモリーした画像を、あとで呼び出して見ることができます。		㉒ページ

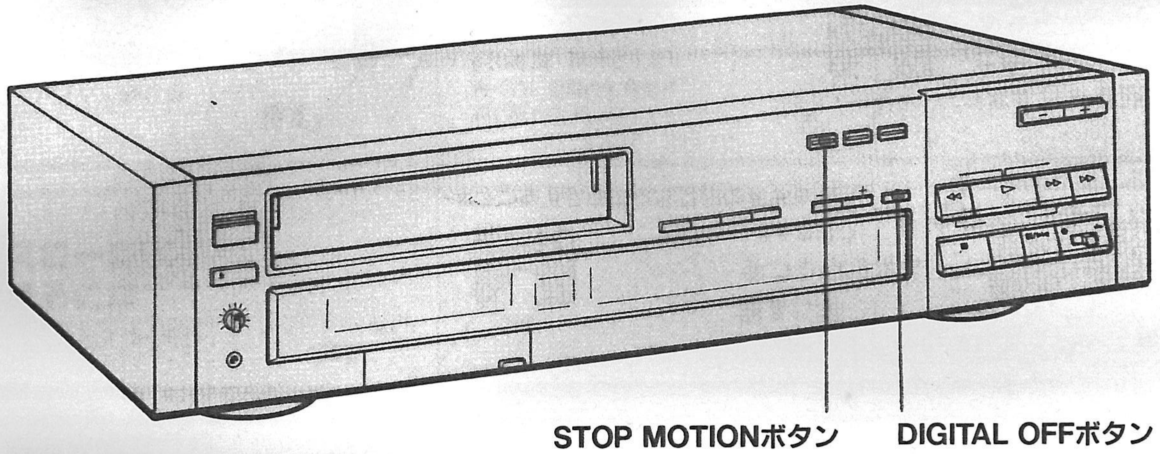
● ⅢI Sまたは ⅢI モードの場合、再生一時停止中にピクチャーサーチをして再生一時停止に戻った場合、画面にノイズが出ることがあります。
●デジタルスキャンでは画像を順次かきかえることができますが、 ⅢI Sまたは ⅢI モードでは、かきかえに時間がかかります。
● ⅢI Sまたは ⅢIモードの場合はチラつきや乱れが残ります。

ご注意

●録画中や各種デジタル再生中にはデジタルピクチャー機能は働きません。
●ビデオ再生中、デジタルピクチャー画(ストップモーション、フラッシュモーション、リコール)を見ている間もテープは進み続けます。通常再生に戻したときは、テープが進んだところから再生が始まります。またテレビ番組を見ているときは、現時刻で放映している画像に戻ります。
●画面に絵が出ていないときにデジタルピクチャー画を見ようとしても、絵が出なかったり、正常に画面が記憶されない場合があります。

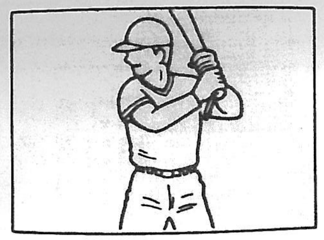
静止画を見るには ——— ストップモーション

ビデオやテレビ番組の画像をお好きなところで止めて見ることができます。クイズのあて先や、お料理番組の材料表などをメモするときなどに便利です。音声は途切れずに連続して聞けます。

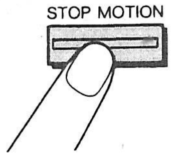


- ビデオを再生中
- テレビ番組を見ているとき
- ライン入力からの画像を見ているとき

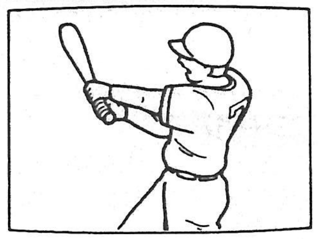
いずれかのときに……



希望のところでSTOP MOTIONボタンを押す。



押した瞬間の画像が静止画として映る。



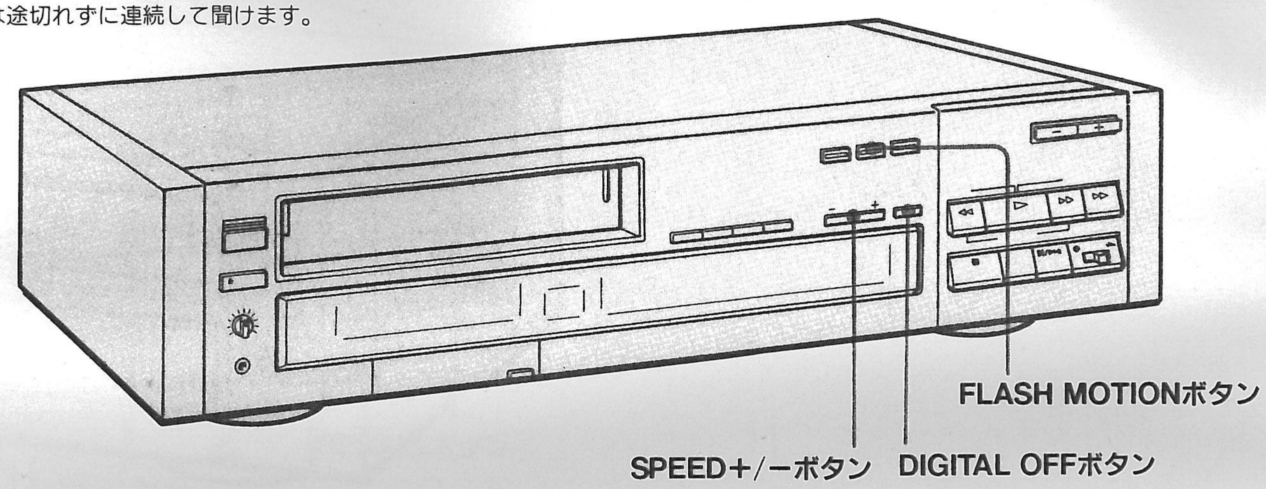
音声は途切れずに聞こえます。

元の画像に戻すには

DIGITAL OFFボタンを押します。

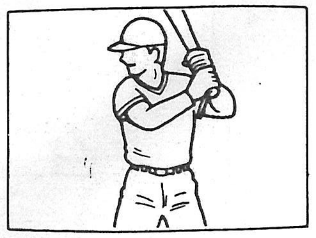
コマ落しの画像を見るには ——— フラッシュモーション

ビデオやテレビ番組の画像を、一定間隔をおいて、次々に静止画にして見ることができます。
音声は途切れずに連続して聞けます。

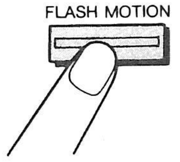


- ビデオを再生中
- テレビ番組を見ているとき
- ライン入力からの画像を見ているとき

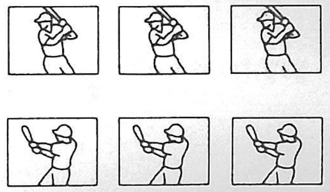
いずれかのときに……



FLASH MOTIONボタンを押す。



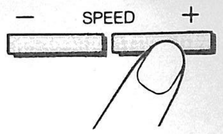
押した瞬間の画像が静止画として映る。



- 静止画は一定間隔で次々に変わってゆきます。
- 音声は途切れずに聞こえます。

静止画の切り換わるスピードを変えるには

SPEEDボタンの「+」を押すと速く切り換わり、「−」を押すとゆっくり切り換わるようになります。

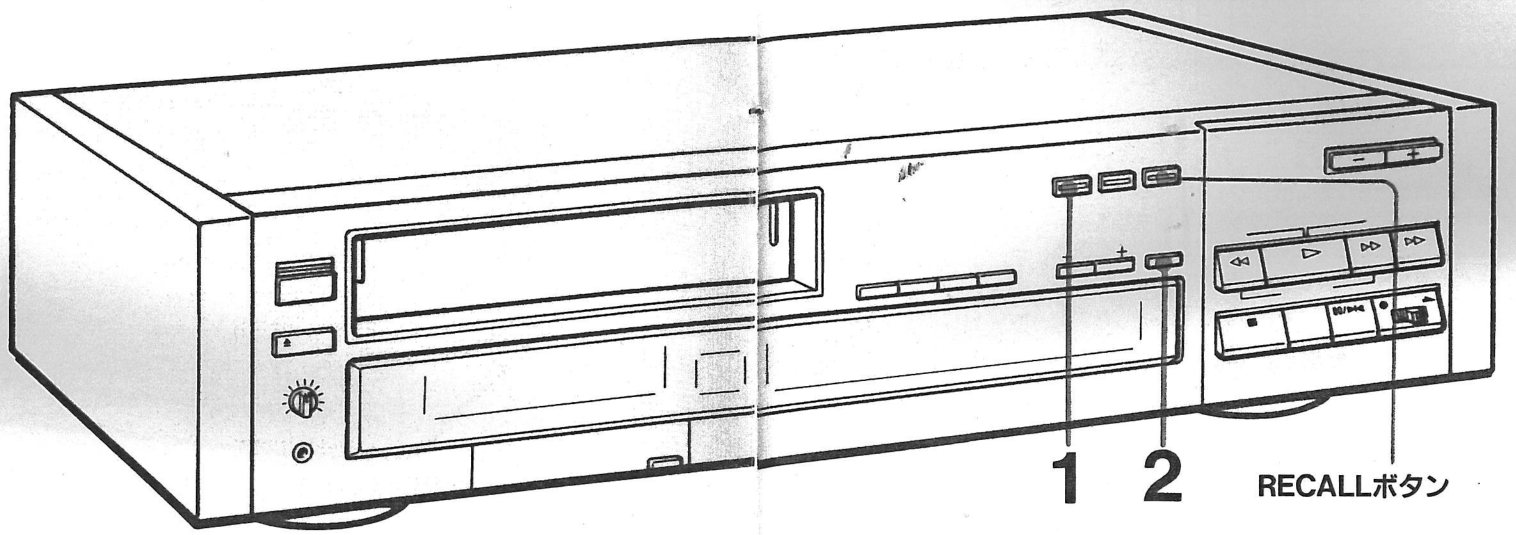


元の画像に戻すには

DIGITAL OFFボタンを押す。

見たい場面を呼び出すには―――リコール

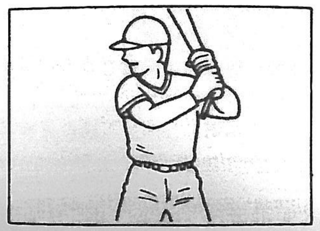
ビデオやテレビ番組の希望する場面を、静止画として記憶させておき、あとでお好きなときに見ることができます。
音声は途切れずに連続してきこえます。



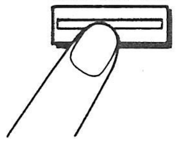
メモリー(記憶)のしかた

- ビデオを再生中
- テレビ番組を見ているとき
- ライン入力からの画像を見ているとき

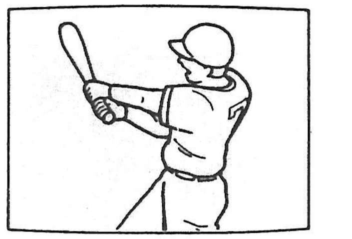
いずれかのときに……



1 **STOP MOTIONボタンを押す。**

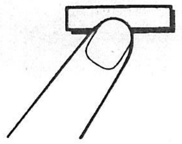


押した瞬間の画像が静止画として映る。



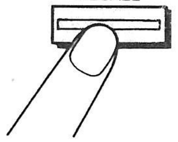
記憶されます。

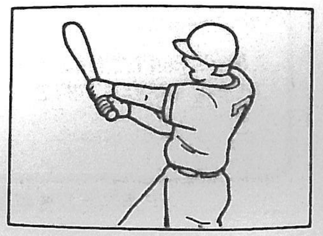
2 **番組の続きを見るにはDIGITAL OFFボタンを押す。**



メモリーした静止画を見るには

RECALLボタンを押す。





RECALLボタンを押せば、
何度でも同じ画像を見ることができます。

元の画像に戻すには

DIGITAL OFFボタンを押します。

次の操作をすると、画像は新しく記憶し直されます。

デジタルピクチャー操作やデジタル再生をすると、操作の最後の画像が記憶され、RECALLボタンを押すとこの画像が出ます。
デジタルピクチャー操作:ストップモーション、フラッシュモーション
デジタル再生 (⑲ページ):再生一時停止、スロー再生、ピクチャーサーチ、高速アクセス、デジタルスキャン
前に記憶された画像は出なくなりますのでご注意ください。

ご注意

- 電源を入れてから一度もデジタルピクチャー機能を使わないうちはRECALLボタンは受けつけません。
- フラッシュモーション機能を使用中、リコール機能は働きません。
- デジタル再生をして、何も記録していないところでテープを止めると、ノイズの入った画面が記憶されることがあります。

オーディオ録音

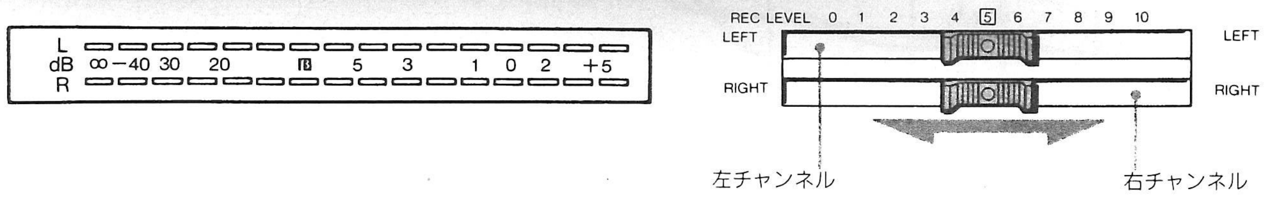
ベータハイファイ録音・再生

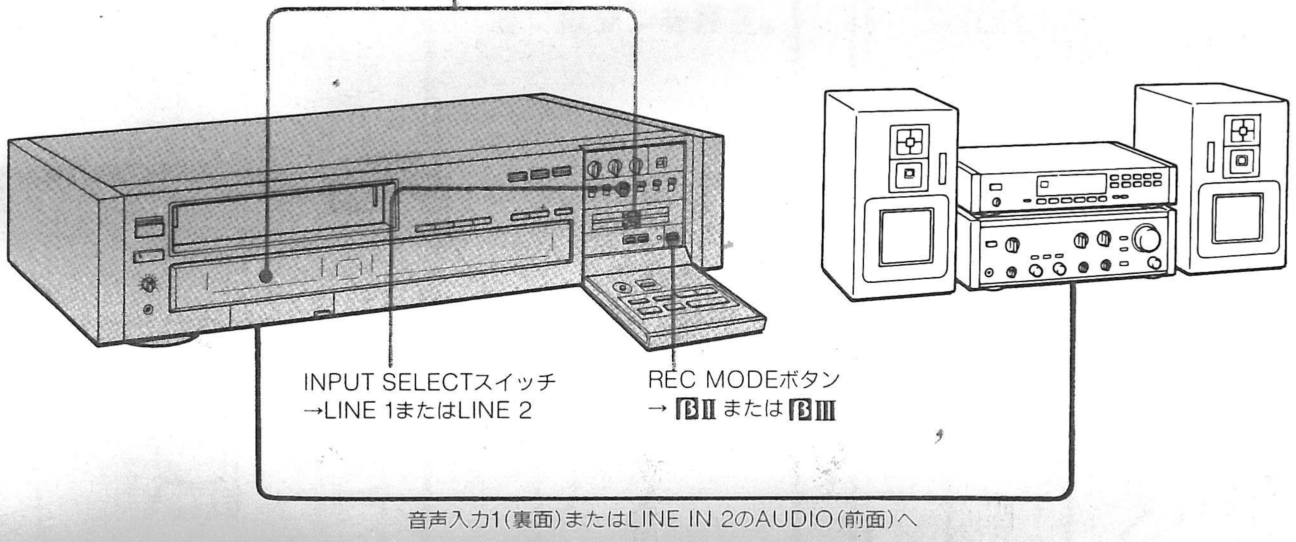
FMチューナーなどオーディオ機器からの音を、ビデオテープにハイファイ録音したり再生することができます。
ED Beta カセットを使うと、より高音質で録音することができます。

PEAK PROGRAM METERとREC LEVELつまみ

録音する音を出して、ピークプログラムメーターの振れを見ながらREC LEVELつまみを合わせます。
いちばん大きな音が入ってきたときに、赤い表示が1つ点灯するくらいが適当です。メーターの振れが左右同じぐらいになるようにLEFTとRIGHTを別々に動かしてみてください。

会話の録音……赤い表示が1つ時々点灯する。
レコードから……赤い表示が1つ常に点灯する。
CD、PCMから…赤い表示が1つたまに点灯する。
上記を参考にして、試してみてください。

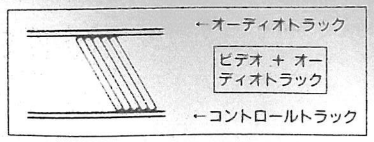




操作は録画・再生のときと同じです

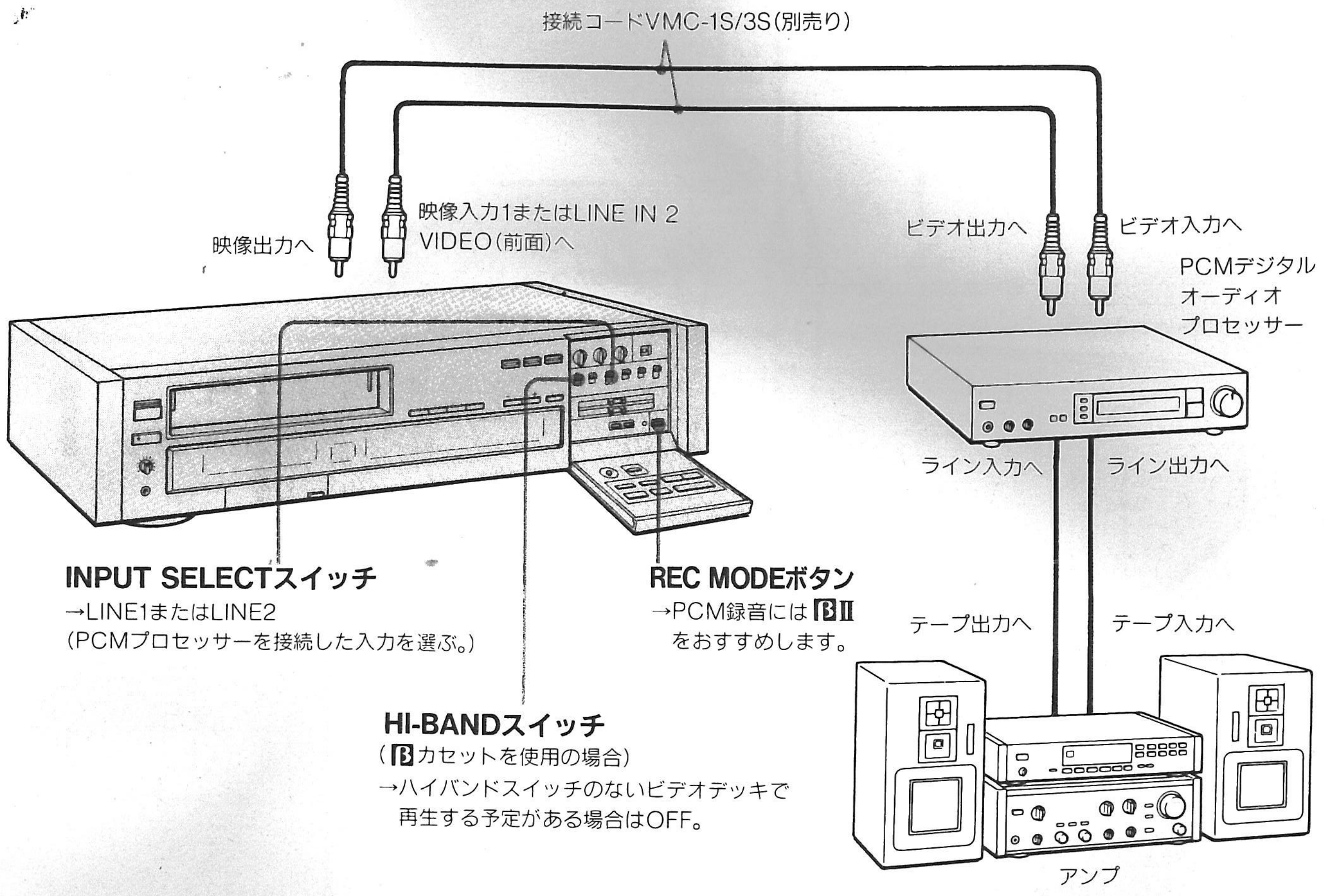
ベータハイファイについて

ベータハイファイ方式では、ビデオ信号とオーディオ信号を、ビデオトラックにいっしょに記録します。録画済みテープにオーディオ録音すると、前の録画の内容は消えてしまいますので、ご注意ください。



PCM録音・再生

PCMデジタルオーディオプロセッサーをビデオデッキの映像入出力端子につなぐと、ビデオトラックを利用して、PCM録音・再生が楽しめます。
ED Beta カセットを使うと、より高音質で録音することができます。



操作は録画・再生のときと同じです

PCMデジタルオーディオプロセッサーの説明書も、あわせてご覧ください。

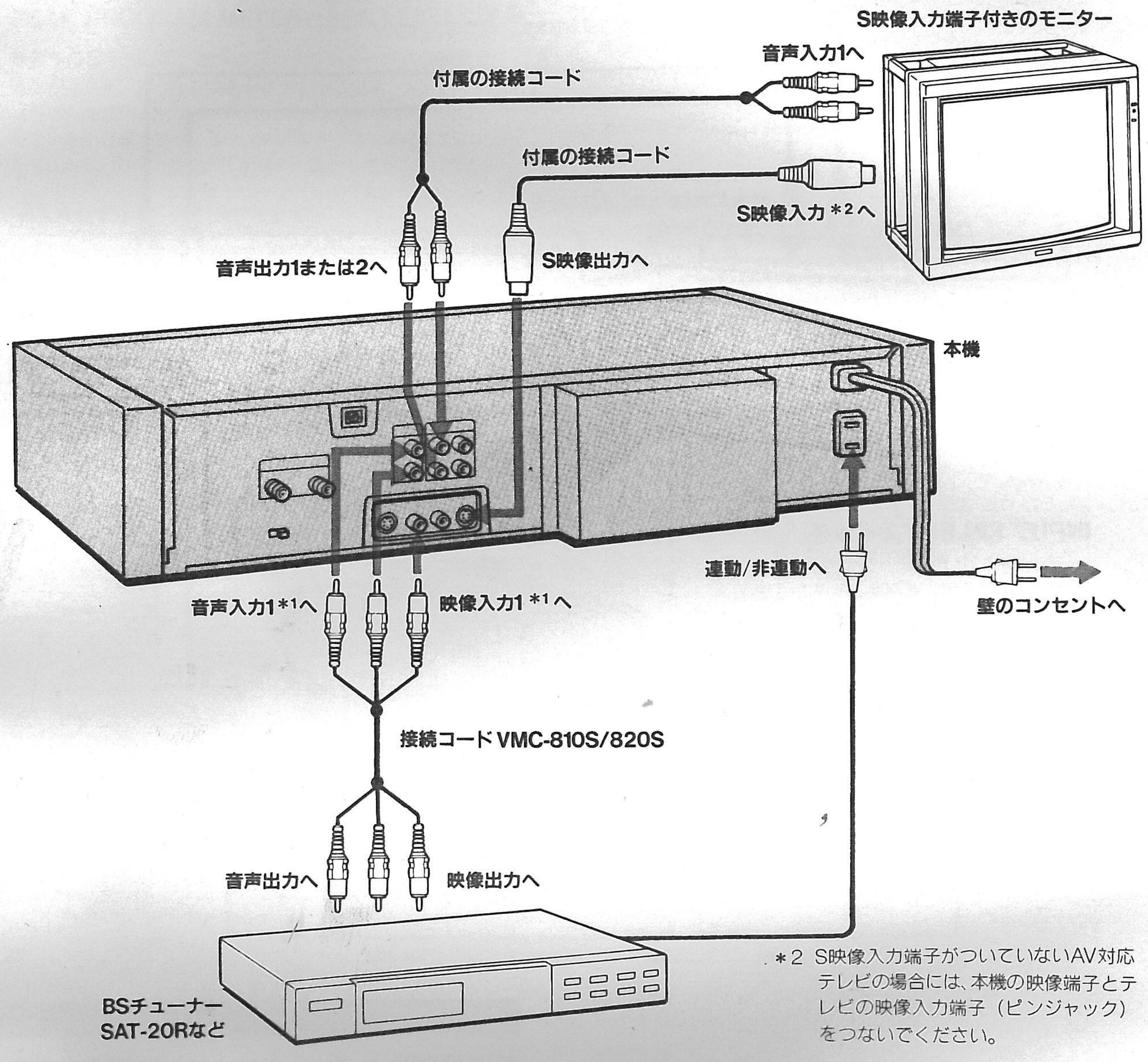
ßカセットを使用の場合

HI-BANDスイッチをONの位置でPCM録音したテープをハイバンドスイッチのないビデオデッキで再生すると、音が出ない場合があります。

衛星放送のタイマー録画／録音

衛星放送受信用BS チューナー(ソニーSAT-20Rなど)を本機につなぐことにより、 衛星放送の最大の特長である高画質、 高音質の番組を録画または録音することができます。衛星放送は、NHKが1987年7月より24時間の番組放送を行なっています。本機に内蔵のタイマーを利用して希望の番組を予約し、録画、録音できます。

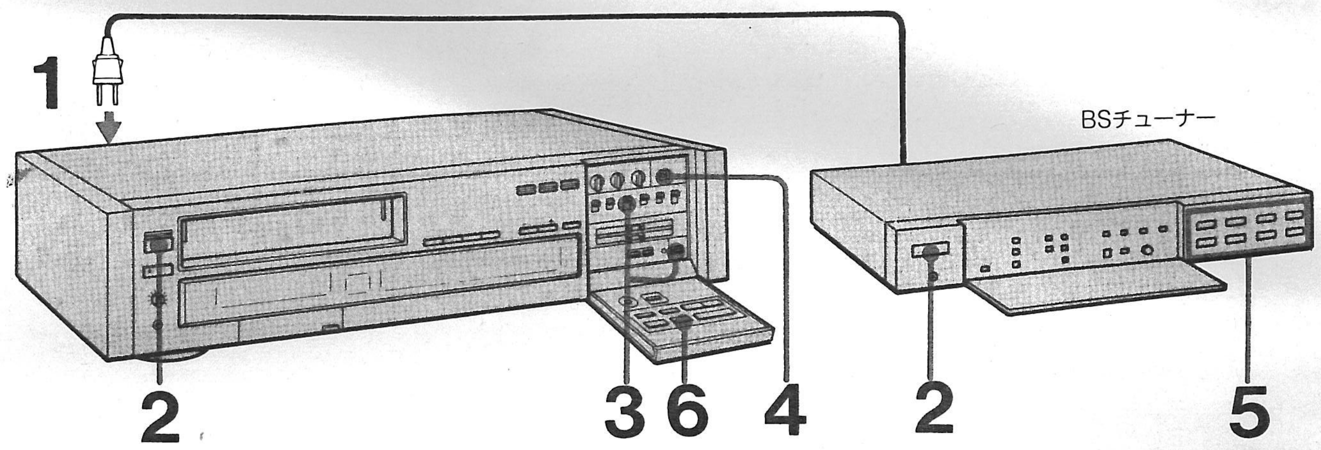
BSチューナーとの接続



＊2 S映像入力端子がついていないAV対応テレビの場合には、本機の映像端子とテレビの映像入力端子（ピンジャック）をつないでください。

＊1 前面のLINE IN 2 AUDIO/VIDEO端子へつなぐこともできます。

衛星放送のタイマー録画・録音



1 BSチューナーの電源コードを本機の連動/非連動電源コンセントへつなぐ。

2 本機およびBSチューナーの電源を入れる。

3 次の項目を確認する。

INPUT SELECTスイッチ：LINE1またはLINE2
REC MODEボタン：BII または：BIII表示

4 本機のBS ON LINEスイッチをONにする。

5 BSチューナー側で録画したい衛星放送チャンネルを選ぶ。

6 本機でタイマー予約をする。
(㉘ページ「タイマー録画」をご覧ください。)

衛星放送の受信のしかたについて、詳しくはBSチューナーの取扱説明書をご覧ください。

タイマー録画 ─ 留守録画など

予約の前に

- 時計は合っていますか？（㊷ページ）
- カセットは入っていますか？（⑩ページ）
- つまみ類は基本位置になっていますか？（⑫ページ）
- 録画時間（βII、βIII）は設定しましたか？（⑫ページ）

1週間以内のお好きな時刻にタイマーを予約しておけば、自動的に**最大6つのテレビ番組**を録画できます。

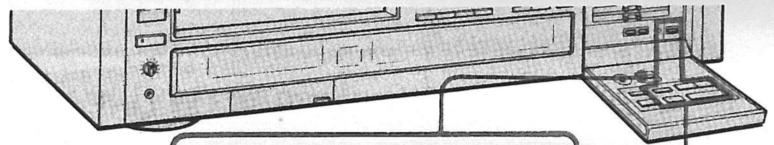
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

今日

タイマー録画ができる1週間（今から1週間後の現時刻まで）

予約のしかた

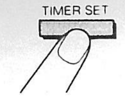
例：金曜日午後9時から午後11時45分まで、8チャンネルの録画を予約するには。



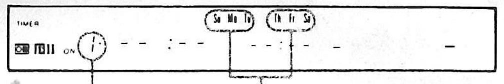
ボタンを押しまちがえたときはCLEARボタンを押して、初めからやり直してください。

	操作	表示窓

1 TIMER SETボタンを押す。



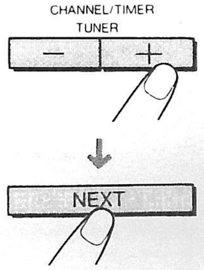
ビデオデッキに電源がはいる。

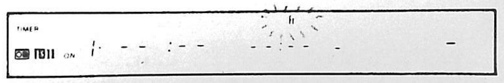


予約番号

交互に点滅

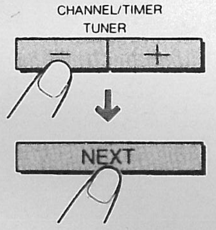
2 開始の曜日を合わせる。

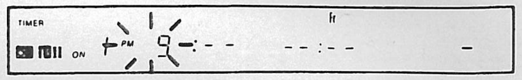




この例ではFrを点灯させる。
- 「毎週」のときはEVERY WEEKを点灯させる。
- 「毎日」のときは
  Su Mo Tu We Th Fr Sa
  (日) (月) (火) (水) (木) (金) (土)
  すべての曜日を点灯させる。

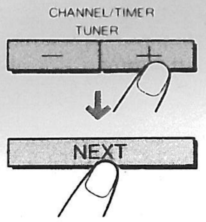
3 開始時を合わせる。

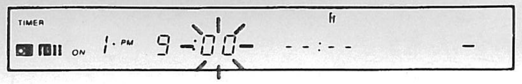




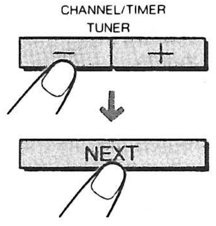
（12時間方式）

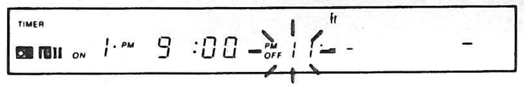
4 開始分を合わせる。



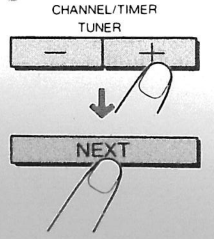


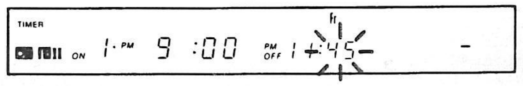
5 終了時を合わせる。



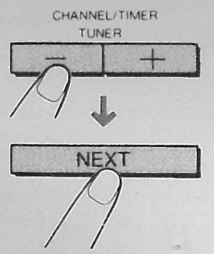


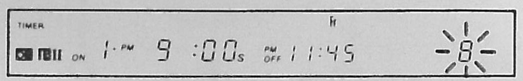
6 終了分を合わせる。





7 チャンネルを合わせる。

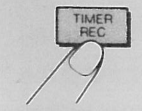




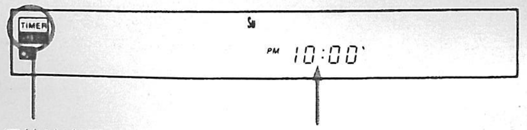
カウンターと現在時刻表示に戻る。

さらに他の予約をするには、1〜7を繰り返す。

8 TIMER RECボタンを押す。



ビデオデッキの電源が切れ、タイマー録画待機状態になる。TIMER CHECKボタン以外は使えなくなる。



予約済表示

現在時刻

予約した時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると電源が切れます。

知っていると便利なこと

毎日同じ時刻に同じ放送チャンネルを録画するには

曜日表示の「Su Mo Tu We Th Fr Sa」を選びます。

毎週同じ曜日の同じ時間に同じチャンネルを録画するには

曜日表示の設定のとき、希望の曜日と「EVERY WEEK」が点灯するようにします。

毎日／毎週録画で今日だけは録画したくないというときは

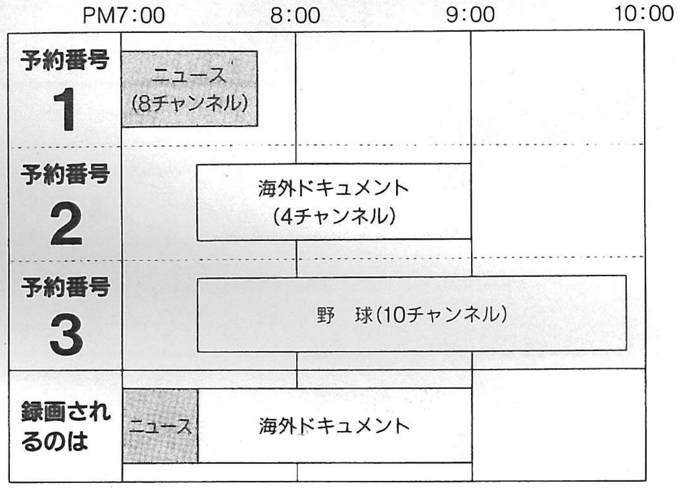
TIMER RECボタンを押してTIMER REC表示を消しておきます。再び、その番組を録画したい日に、もう一度TIMER RECボタンを押して、表示を点灯させます。

テープの終わりまで録画するには

テープの終わる時間より、あとの時刻になるように、終了時刻を設定します。

予約した番組が重なると…

(例)



- 開始時刻の早い番組が途中まで録画された後、遅いほうの番組が予約通り録画されます。
- 開始時刻が同じならば、予約番号の早いほうが録画され、もう一方の予約は取り消されます。

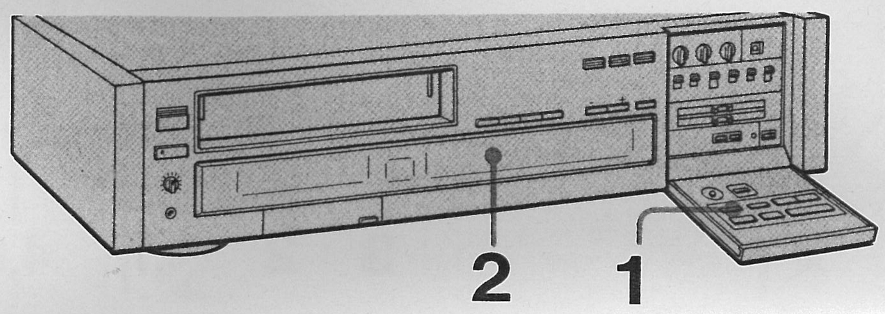
ちょっとひと言

- 予約した録画が終了すると、毎日録画、毎週録画を除いて、その予約内容は取り消され、予約番号は順に繰り上がります。
- 終了時刻前にテープが終わりになると、録画は停止し電源も切れます。
- タイマー録画でテープが終わりまできても、自動的には巻き戻されません。
- 予約内容を確かめると、録画中以外はそのたびにビデオデッキのチャンネルが予約されたチャンネルに切り換わります。

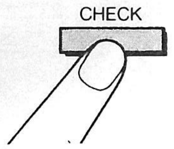
停電があると…

約3分以上の停電があったときは、Su AM 0:00が点滅します。
時計を合わせ直します。(52ページ)
タイマー録画待機中のときは、予約内容が消えてしまいます。時計を合わせて、予約をし直してください。(約3分以内の停電ならば、停電後に再びタイマー録画待機状態となります。)
タイマー録画のときは、録画が止まり、電源が切れます。(約3分以内の停電ならば、通電後録画が再開します。カウンターは「0H00M00S」からスタートします。)

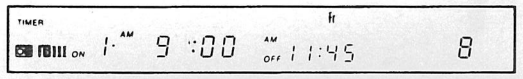
予約した内容を確かめるには



1 CHECKボタンを押す。

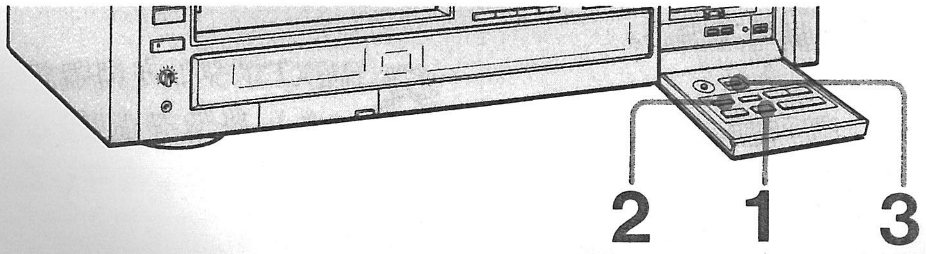


2

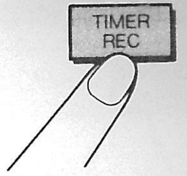


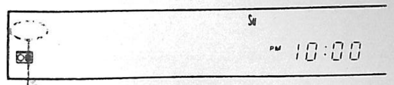
CHECKボタンを押すごとに予約番号1から順に、予約内容が表示される。
- 繰り返し押して予約内容を順に確かめおわると、予約表示は消えます。
- 予約内容を確かめると、録画中以外はそのたびにビデオデッキのチャンネルが、予約されたチャンネルに切り換わりますのでご注意ください。

予約を取り消すには



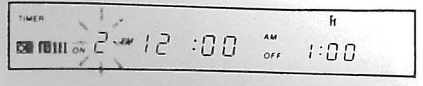
1 TIMER RECボタンを押す。





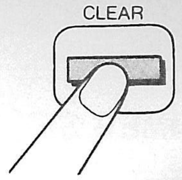
TIMER REC表示が消え、タイマー録画待機状態が解除される。

2 CHECK ボタンを押して取り消したい予約番号を選ぶ。



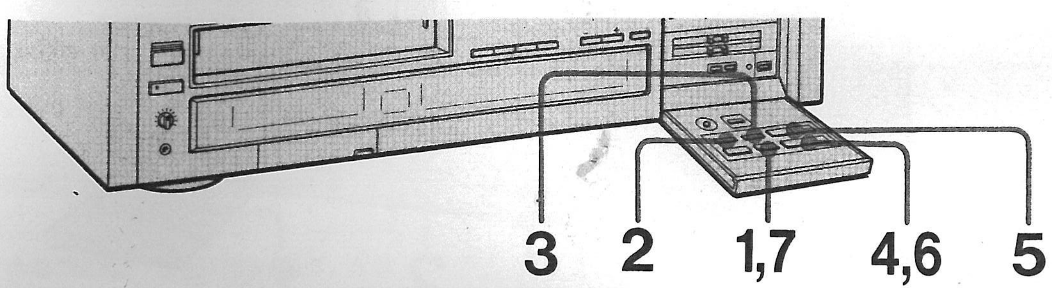
CHECKボタンを押すごとに1→2→……→6の順に点灯する。
点灯中の予約番号が取り消せる。

3 CLEARボタンを押す。

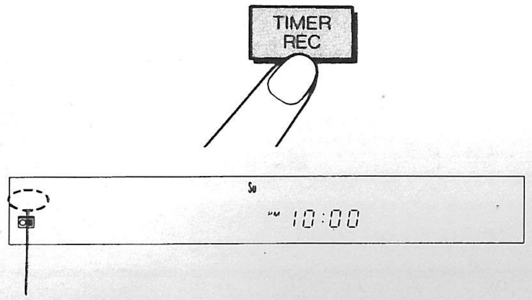


指定した予約内容が取り消されて、そのあとの予約番号が１つずつ繰り上がる。

予約内容を変更するには

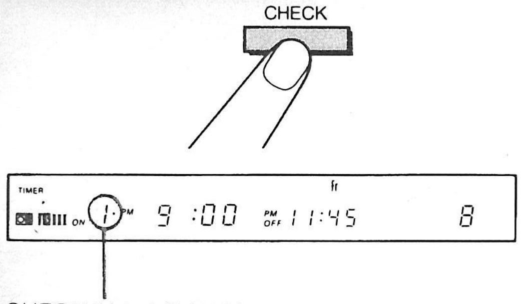


1 TIMER RECボタンを押す。



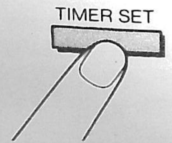
TIMER REC表示が消え、タイマー録画待機状態が解除される。

2 CHECKボタンを押して変更したい予約番号を選ぶ。

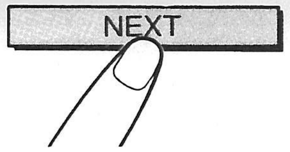


CHECKボタンを押すごとに、
1→2→……→6の順に点滅する。
点滅中の予約番号の内容が変更できる。

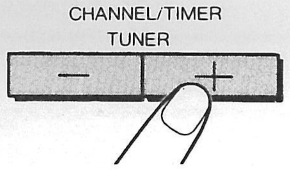
3 TIMER SETボタンを押す。



4 変更したい内容が点滅するまで、NEXTボタンを押す。

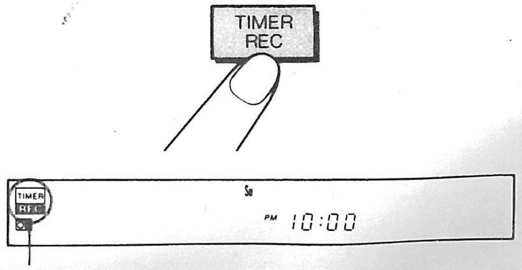


5 −/＋ボタンで内容を変更する。



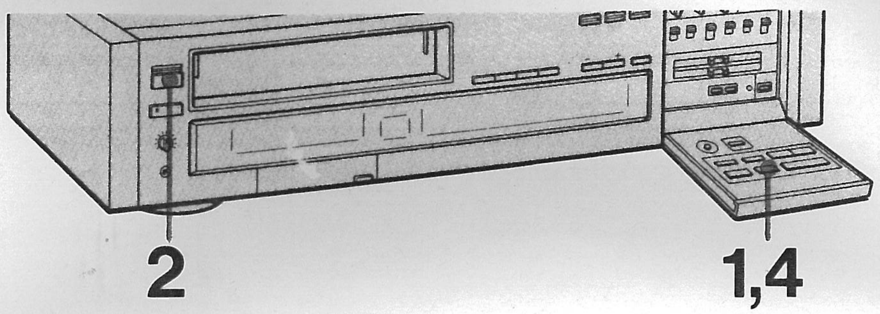
6 NEXTボタンを何度か押してチャンネル表示を点滅させ、さらにNEXTボタンを押して、予約表示を消す。

7 TIMER RECボタンを押して、再び、タイマー録画待機状態にする。

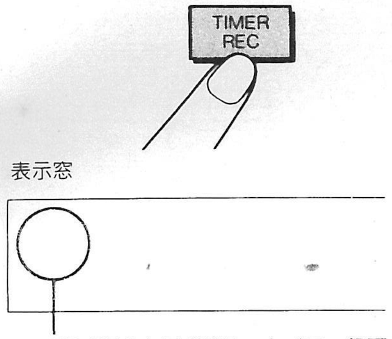


表示点灯

タイマー録画が始まる前にビデオを使うには

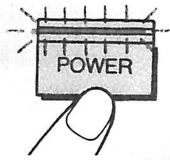


1 TIMER RECボタンを押す。



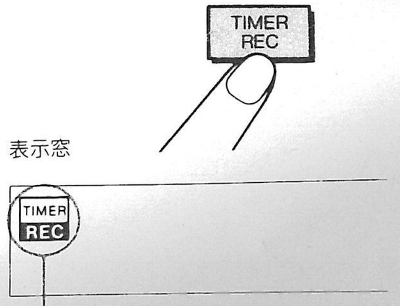
TIMER REC表示が消え、タイマー録画待機状態が解除される。

2 電源を入れる。



3 通常の操作を行う。

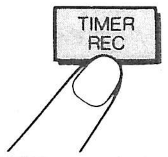
4 ふつうに使った後は、TIMER RECボタンを押して、タイマー録画待機状態に戻す。



表示点灯

タイマー録画を途中でやめるには

TIMER RECボタンを押します。
テープが止まり、電源が切れます。



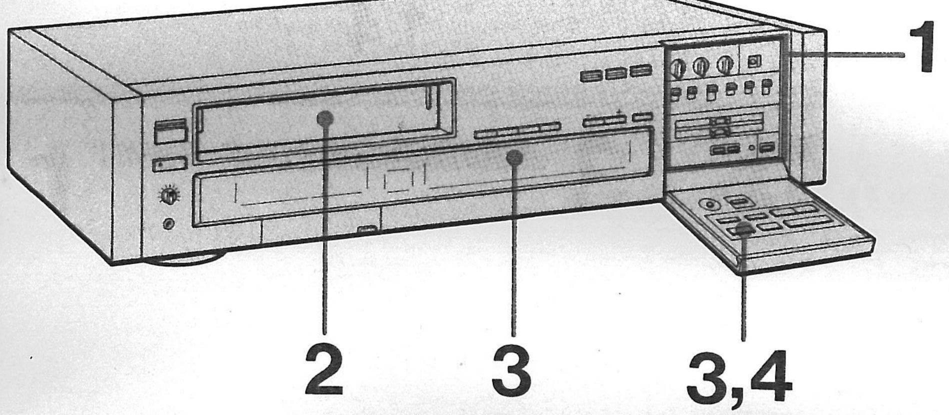
タイマー録画中にも働くボタン

- CHECKボタン
- COUNTER RESETボタン
- TV/VTR切り換えボタン
  録画中、別の番組が見られます。
- AUDIO MONITORボタン

クイックタイマー録画

こんなときに便利です。		
●録画を始めたが、お休みになりたいとき	●録画中に外出しなければならないとき	●録画しようとしたが、急用ができたとき

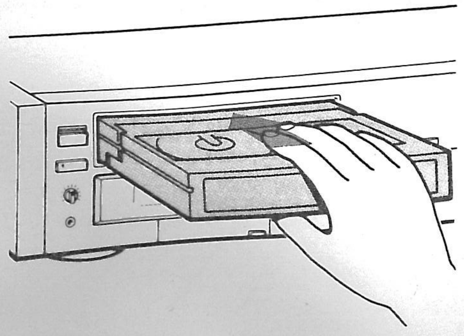
QUICK TIMERボタンを押すだけで、**30分単位で最大5時間まで**タイマー録画ができます。



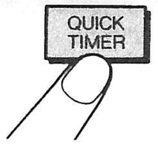
今、録画中なら、**4の操作だけ**で録画終了時間が設定されます。

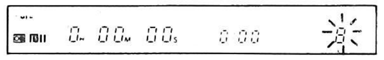
1 **つまみ類を基本の位置に合わせる。**
(⑫ページ)

2 **カセットが入っていない場合はカセットを入れる。**(⑩ページ)



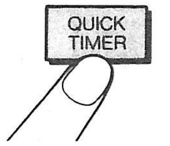
3 **QUICK TIMERボタンを押す。**





チャンネル表示が点滅している間(約30秒)に、録画したいチャンネルを選ぶ。

4 **QUICK TIMERボタンを繰り返し押して録画時間を選ぶ。**



表示窓にTIMER REC表示が出て録画が始まります。

テレビの電源を切っても録画できます。録画時間が終わると自動的に録画が止まり、電源が切れます。

録画時間

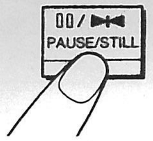
QUICK TIMERボタンを押すごとに、表示窓に出る録画時間は次のように変わります。

表示	0:00	→ 0:30	→ 1:00	→••• 5:00
録画時間	このままで約30秒たつと電源が切れる。表示窓は現時刻に戻る。	30分 録画が始まる。	1時間	5時間 もう一度QUICK TIMERボタンを押すと「0:00」に戻る。

クイックタイマー録画中でも、QUICK TIMERボタンを押すと録画時間が変わります。
録画中、時間表示は1分単位で減っていきます。

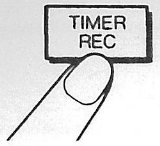
録画を一時的に止めるには

❚❚/▶◀ PAUSE/STILLボタンを押します。



録画を途中で止めるには

TIMER RECボタンを押します。録画が止まり電源が切れます。



クイックタイマー録画中にも働くボタン

- TIMER CHECKボタン
- COUNTER RESETボタン
- TV/VTR切り換えボタン
  録画中、別の番組が見られます。
- ❚❚/▶◀ PAUSE/STILLボタン
- REC MODEボタン（一時停止中に働く）
- CHANNEL+/−ボタン（一時停止中に働く）
- AUDIO MONITORボタン
- TIMER RECボタン

上記以外のボタンはクイックタイマー録画中には働きません。

タイマー予約中は

タイマー予約待機中（表示窓にTIMER REC表示が出ているとき）は、QUICK TIMERボタンは働きません。TIMER RECボタンを押して表示を消してから、QUICK TIMERボタンを押してください。

テープが終わると

クイックタイマー録画中にテープが終わると、録画が止まり電源が切れます。巻き戻しはされません。

ツメ折れカセットが入っているとき

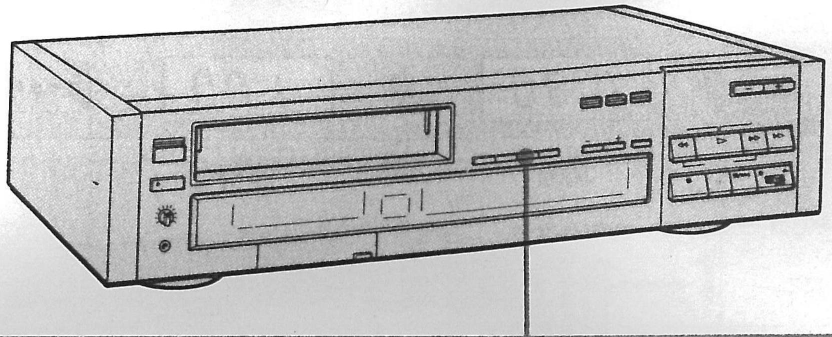
ツメ折れカセットが入っているとき、QUICK TIMERボタンを押すと、カセットが自動的に出てきます。ツメの折れていないカセットを入れて再度QUICK TIMERボタンを押してください。

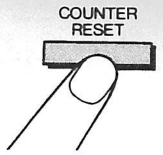
停電

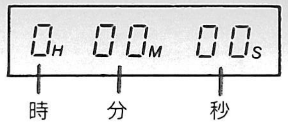
クイックタイマー録画中に停電があると録画が止まり電源が切れます。約3分以内の停電ならば通電後、再び録画が始まります。

カウンターの活用

テープ全体に索引をつけるには



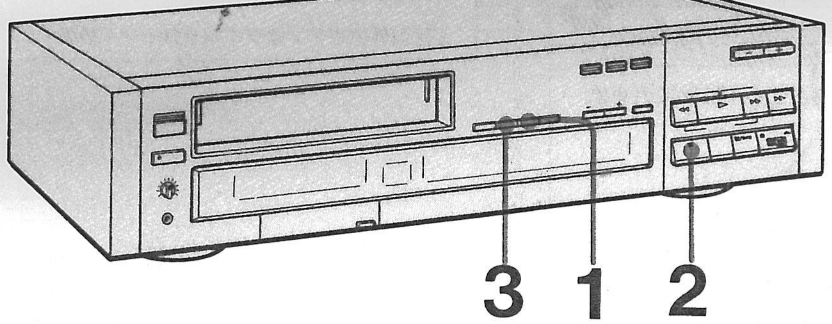




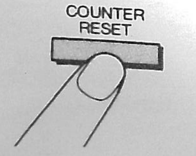
・テープの最初でCOUNTER RESETボタンを押して、カウンターを「$0_H00_M00_S$」にします。

- カウンターは、テープの走行を時、分、秒で表示します。
- 録画や再生をしながら、録画内容と番組のはじめのカウンター表示をメモしておけば、あとで早送りや巻き戻しをして、希望の所を簡単に見つけることができます。
- カセットを取り出しても、カウンターは前の表示のままですが、再び入れると「$0_H00_M00_S$」に戻ります。

見たい場面まで巻き戻しか早送りするには（テープリターン）

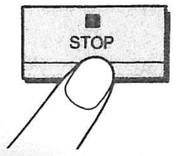


1 録画や再生中、あとでもう1度見たい場面がきたら、そこでCOUNTER RESETボタンを押す。

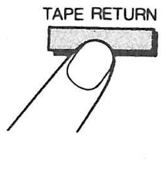


カウンターは「$0_H00_M00_S$」になる。

2 録画や再生が終わったら、■ STOPボタンでテープを止める。



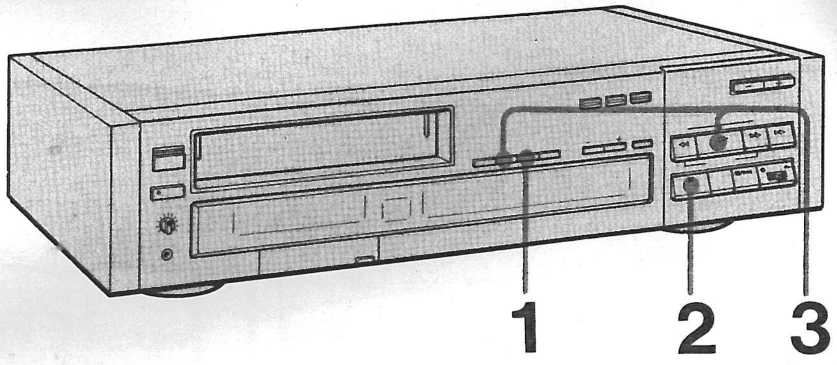
3 TAPE RETURNボタンを押す。



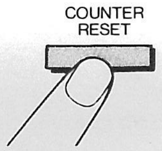
◀◀または▶▶ランプが点灯

テープは、カウンター「$0_H00_M00_S$」前後まで巻き戻されて止まる。「$0_H00_M00_S$」より以前に巻き戻してからTAPE RETURNボタンを押した場合は「$0_H00_M00_S$」前後まで早送りされて止まる。

見たい場面まで巻き戻しか早送りして、そこから自動的に再生するには（テープリターンプレイ）

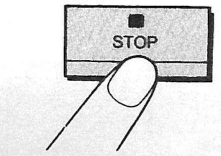


1 録画や再生中、あとでもう1度見たい場面がきたら、そこでCOUNTER RESETボタンを押す。



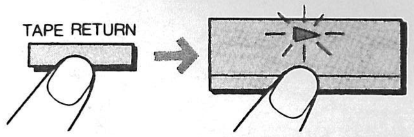
カウンターは「$0_H00_M00_S$」になる。

2 録画や再生が終わったら、■STOPボタンでテープを止める。



3 まずTAPE RETURNボタンを押し、次に▶PLAYボタンを押す。

▶ランプが点滅し、テープは巻き戻しか早送りされる。



「$0_H00_M00_S$」前後まで来ると、▶ランプが点灯に変わり、自動的に再生が始まる。

何も録画されていないテープでカウンターは動きません。

カウンターは録画のときテープ上に記録されていくコントロール信号を検出して動きますので、何も録画されていないテープで録画以外の操作をしてもカウンターの表示は動きません。早送りや巻き戻し中、テープ走行中にカウンターが止まったら、そこはテープの未録画部分です。

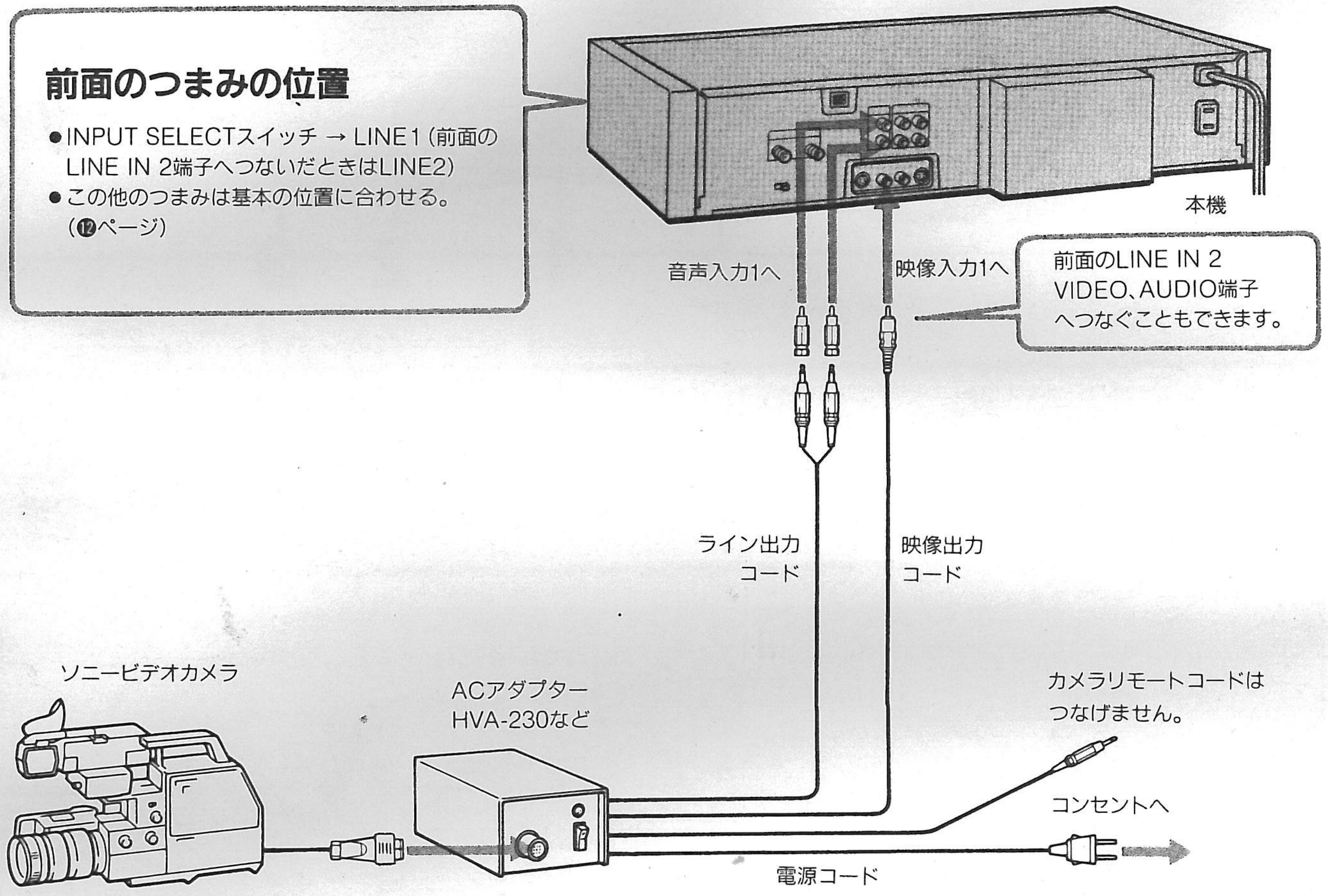
カウンター「$0_H00_M00_S$」の約10s（秒）以上はなれた位置からでないと、テープリターンとテープリターンプレイはできません。

カメラ録画 別売りのカメラを使って、カメラ録画をお楽しみいただけます。

接続

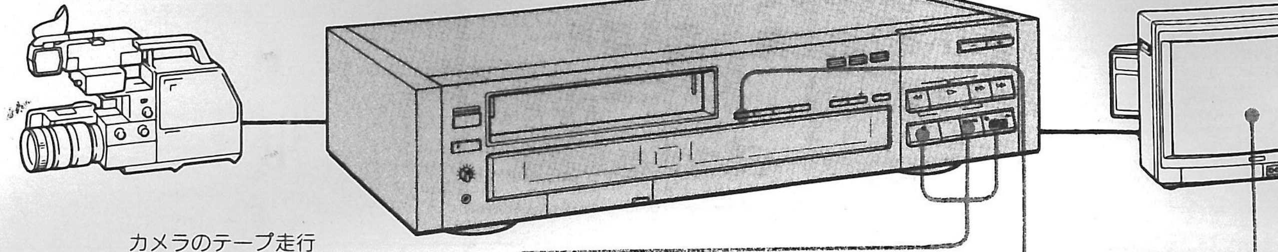
前面のつまみの位置

- INPUT SELECTスイッチ → LINE1（前面のLINE IN 2端子へつないだときはLINE2）
- この他のつまみは基本の位置に合わせる。（⑫ページ）



ACアダプターHVA-230はソニーのカメラ専用です。他社のカメラをお使いになるときは、専用のACアダプターをご使用ください。

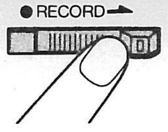
操作



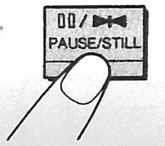
カメラのテープ走行ボタンは働きません。

操作は通常の録画と同じです。

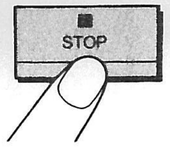
録画するには……



一時停止するには……



止めるには……



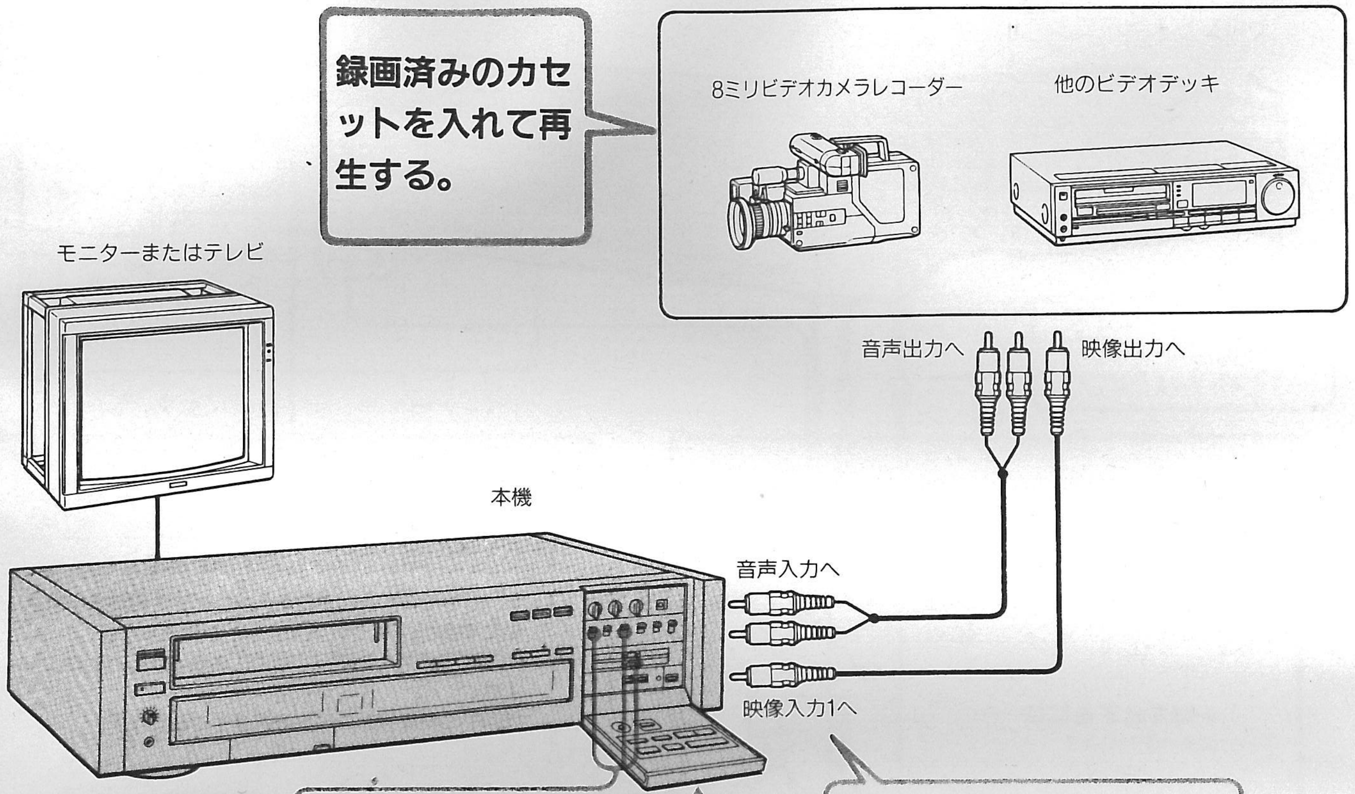
録画中の画像をテレビやモニターで見るには通常の録画のときと同じです。

1 テレビやモニターの電源を入れ、ビデオ用のチャンネルにするか、「ビデオ入力」に切り換えます。
2 TV/VTRボタンを押して「VTR」の表示が出るようにします。
録画中の画像がテレビやモニターに映ります。

テープ編集

ビデオデッキをもう一台つなげば、
録画済みカセットの編集やお好みのテープ作りができます。

他のビデオデッキで再生し、本機で録画するには



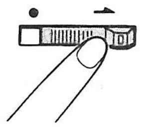
音声入力1/映像入力1の代わりに、前面のLINE IN 2 AUDIO、VIDEO端子へつなぐこともできます。

REC LEVELつまみ→5

HI-BANDスイッチ→ON
(Ḃカセットを使用の場合)

INPUT SELECTスイッチ→LINE1
(前面のLINE IN 2端子へつないである場合は**LINE 2**)

本機を録画状態にする。



他のビデオデッキが音声多重対応の場合

音声は次のように記録されます。

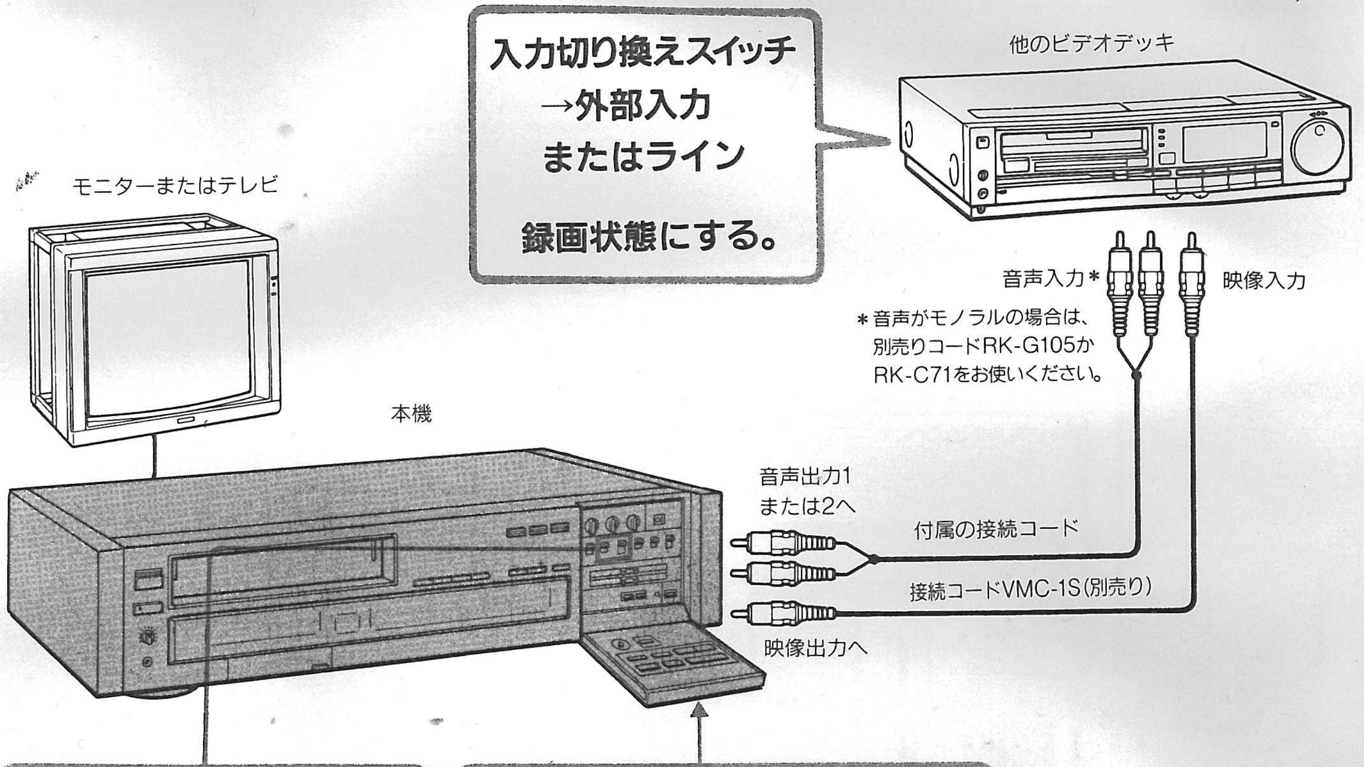
他のビデオデッキ(再生側)からの音声		本機における記録		
		ベータハイファイ方式		従来方式
ステレオ	➡	ステレオ		モノラル
二重音声 主・副	➡	左 主	右 副	主・副混じった音
二重音声 主	➡	主	主	主
二重音声 副	➡	副	副	副
モノラル	➡	モノラル		モノラル

□部は、再生時にAUDIO MONITORボタンで聞きたい音を選べます。

＊接続する機器の音声出力がモノラルの場合は、別売りの接続コードRK-G105かRK-C71をお使いください。

画質の劣化を軽減するには
再生機にEDITスイッチがついている場合には、エディットモードにします。

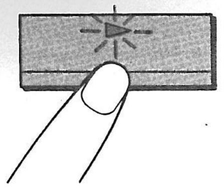
本機で再生し、他のビデオデッキで録画するには



HI-BANDスイッチ
(Ḃカセットを使用の場合)
→このスイッチをONの位置で録画したテープの場合はON
それ以外はOFF

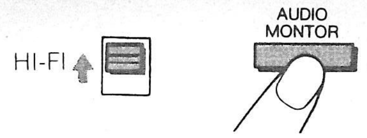
EDITスイッチ
→ ▲ の方向に
(画質の劣化を軽減します。)

本機を再生状態にする。



二重音声を録音したテープを編集するには

録画側のビデオデッキが音声多重型でないとき
本機のAUDIO MONITORスイッチをHI-FIの位置にし、本機のAUDIO MONITORボタンでMAIN/LかSUB/Rのどちらか記録したい音声を選びます。



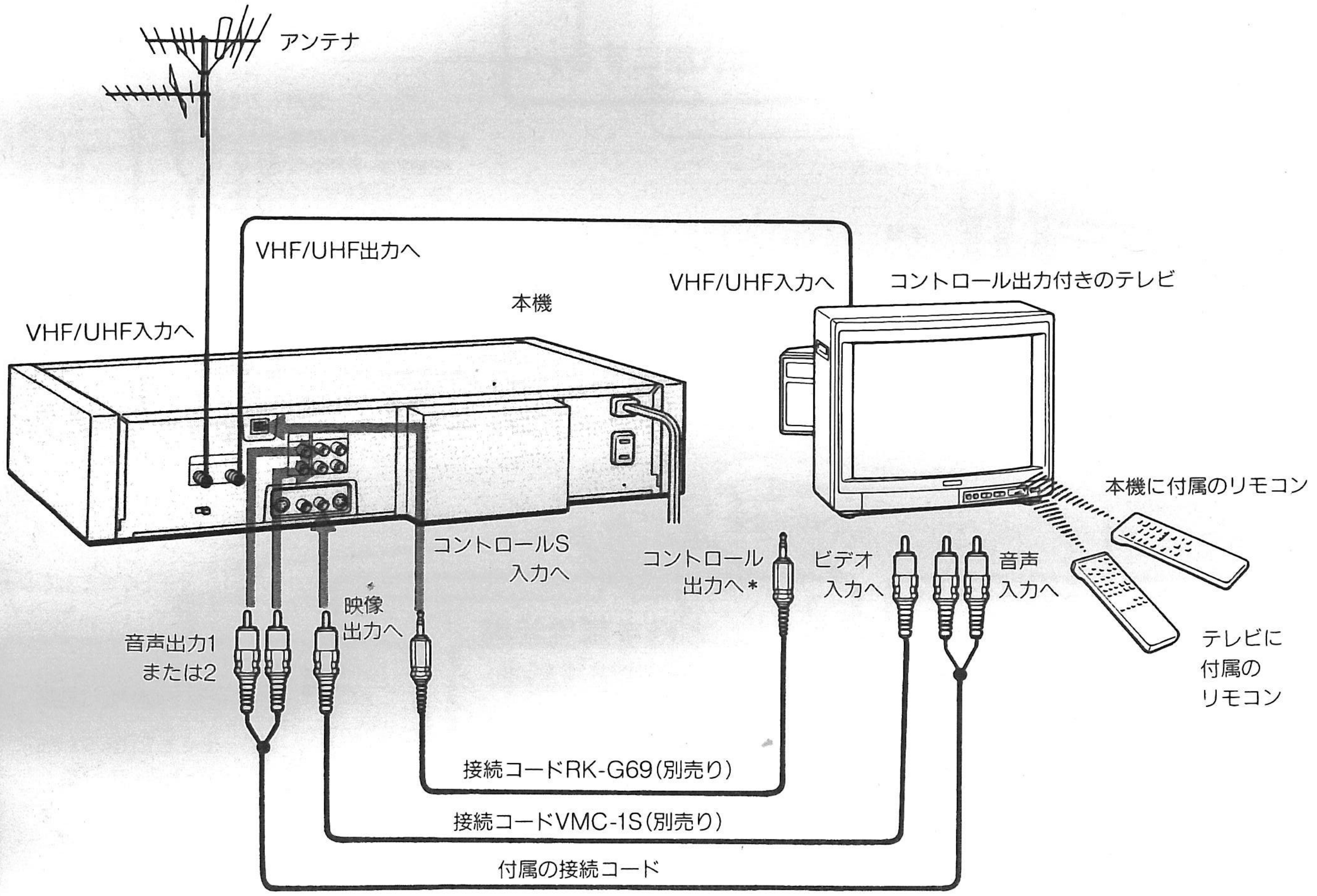
録画側のビデオデッキが音声多重型のとき
本機のAUDIO MONITORスイッチをHI-FIの位置にし、AUDIO MONITORボタンでSTEREOを選びます。主/副音声の両方が記録されます。

ご注意
同じビデオデッキに、このページと前のページの接続を同時にすると、ブーンという雑音（発振音）が出ることがあります。

他の機器との組み合わせ使用

リモコンをテレビに向けて操作し、ビデオをコントロールするには

コントロール出力端子付きのソニーのテレビやテレビチューナーと接続すると、付属のリモコンをテレビやテレビチューナーに向けて操作し、ビデオ動作させることができます。ビデオとテレビの設置位置が離れているときなど、テレビ画面を見ながらリモコン操作できるので便利です。



＊カラーテレビチューナーVT-X5Rに接続するとき
モニター出力のコントロール出力端子へ接続してください。

詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

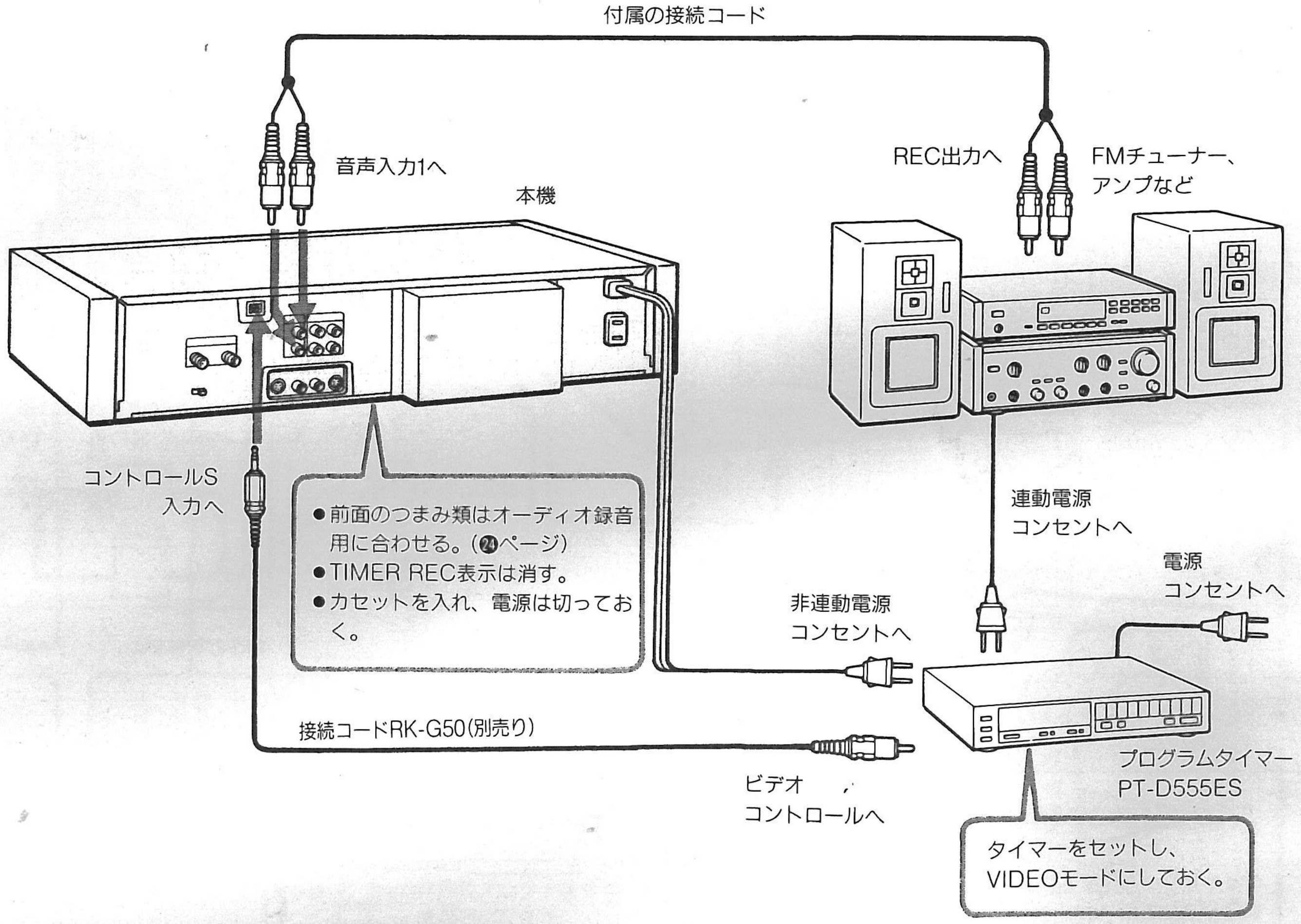
プログラムタイマーPT-D555ESを使って留守録音するには…

ラジオ番組などを最大4つまで留守録音することができます。

タイマー予約した時刻になると自動的に電源が入り、予約した終了時刻になると録音が止まりビデオデッキの電源も切れます。その後タイマープログラムがある限り、録音/停止をくり返します。詳しくはプログラムタイマーPT-D555ESの説明書をご覧ください。

録音中、ビデオデッキの⏸/▶◀、■などの各ボタンが使えます。テープが終わりまでくると、自動的に最初まで巻き戻されて止まります。プログラムタイマーを使わないときも、下図の接続のままビデオデッキを操作します。

本機のCOMMAND MODE切り換えスイッチ(⑨ページ)は、必ずVTR 1にしてください。

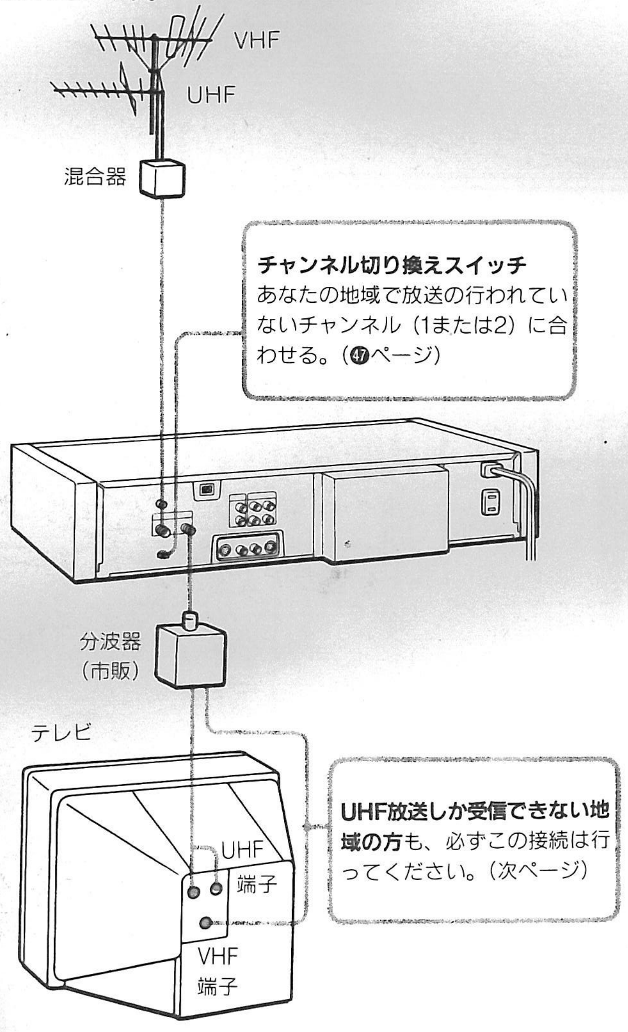


＊前面のLINE IN 2 AUDIO端子へつなぐこともできます。

1 アンテナ、ビデオデッキ、テレビをつなぎます。

部屋のアンテナ端子がVHF/UHF混合の場合は下図のようにつなぎます。

部屋のアンテナ端子がVHF/UHF別々の場合は次ページのようにつなぎます。

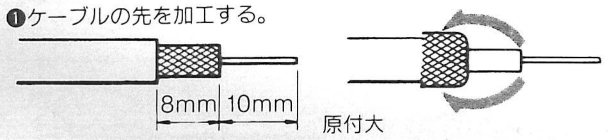


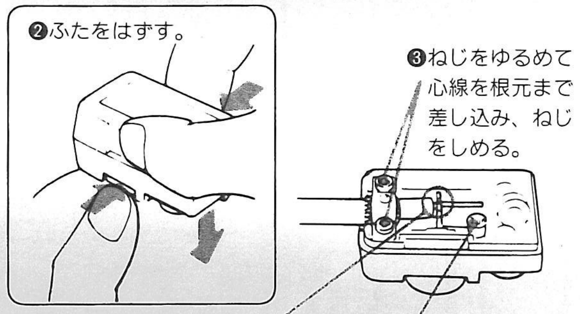
次ページの接続で付属のアンテナ整合器をアンテナ線に取り付ける場合。

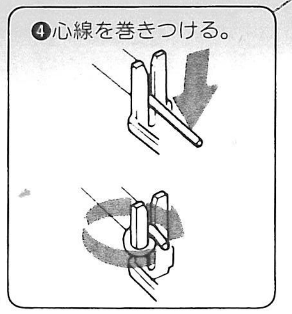
まず次ページの上図を見て、お手持ちのアンテナ線の先端を確かめます。必要があれば、付属のアンテナ整合器を取り付けます。

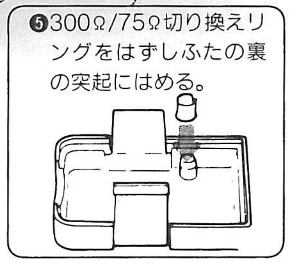
同軸ケーブルの場合

❶ケーブルの先を加工する。



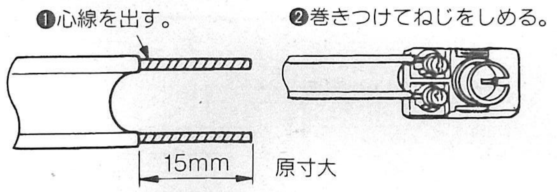






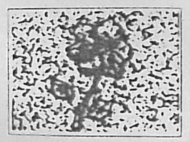
❻ふたをはめる。

フィーダー線の場合

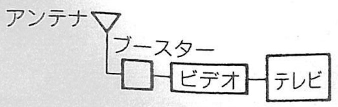


ブースター使用のおすすめ

電波の弱い地域では、ビデオをつなぐとテレビ画面がチラチラと雪のふるような画面になることがあります。これはテレビのアンテナに入る電波がテレビとビデオに分配されて弱まるためです。このようなときは、別売りのブースターをお使いください。

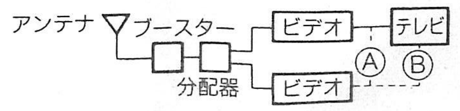


雪の降るような画像

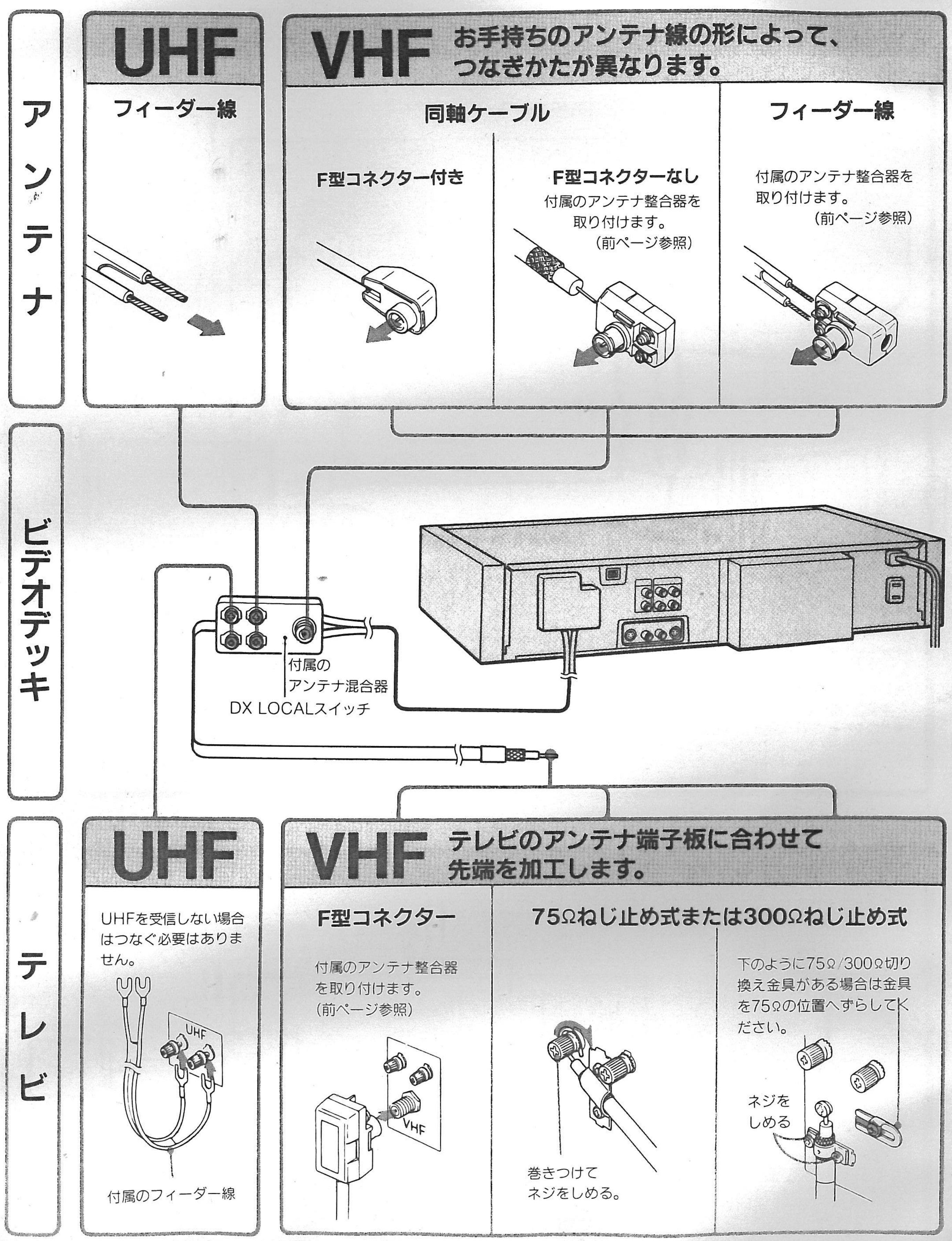


ビデオ2台の場合

アンテナの分配が2つ重なるため、テレビ画面がチラチラする可能性が高くなりますので、ブースターの使用をおすすめします。なお、電波状態は地域により異なるため、ブースターをお求めの際はお近くの販売店にご相談ください。



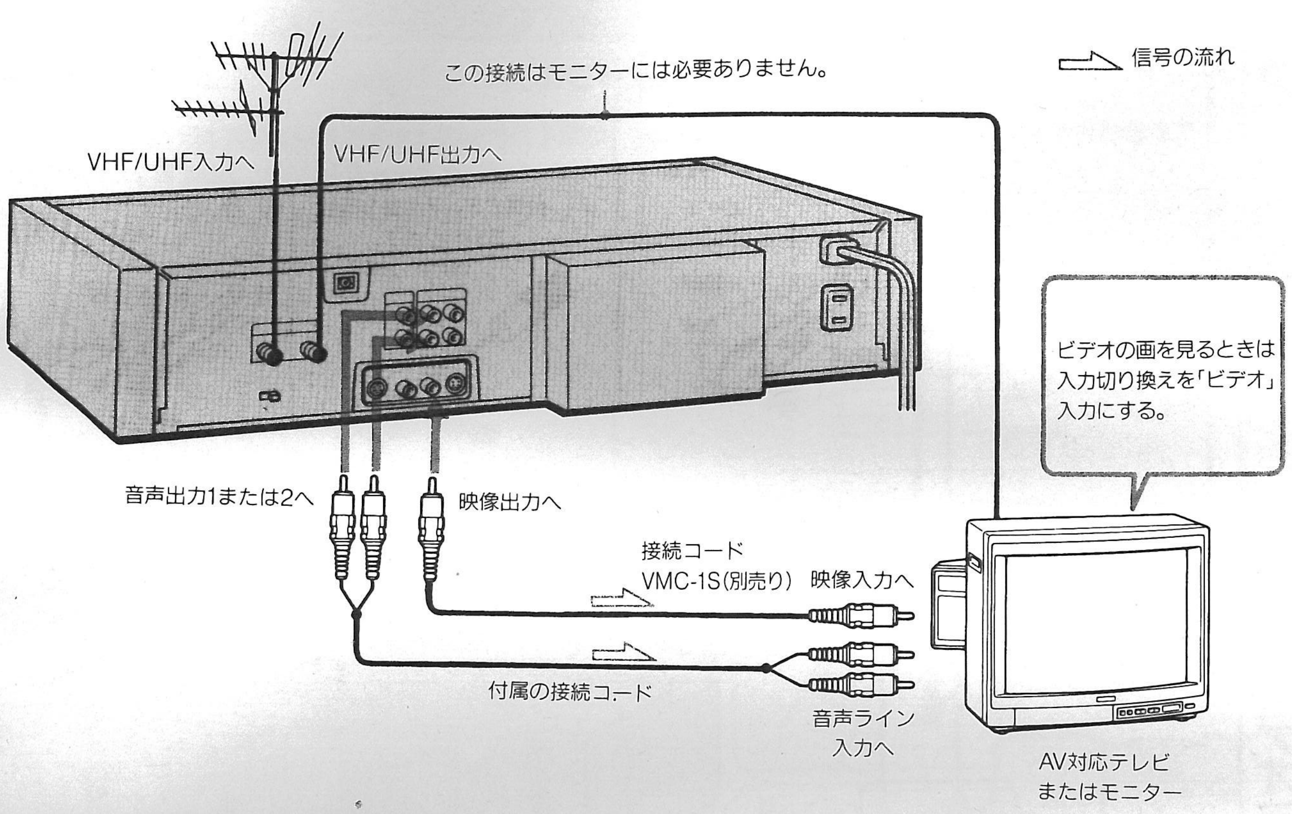
Ⓐ、Ⓑの接続はテレビによって異なります。（くわしくは㊿㉛ページ参照。）



DX LOCALスイッチについて

電波の強い地域で画像が乱れる場合はLOCAL側にします。

AV対応テレビ（映像・音声付き）またはモニターをお持ちの場合

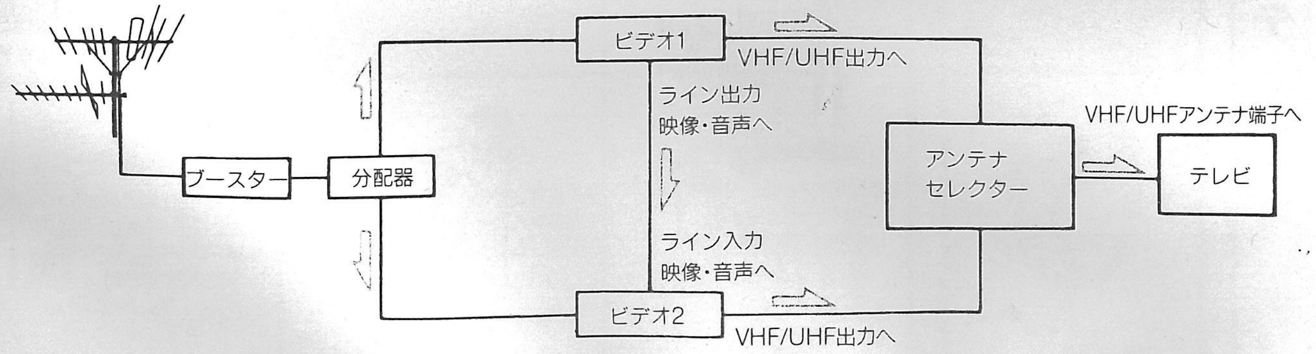


ご注意

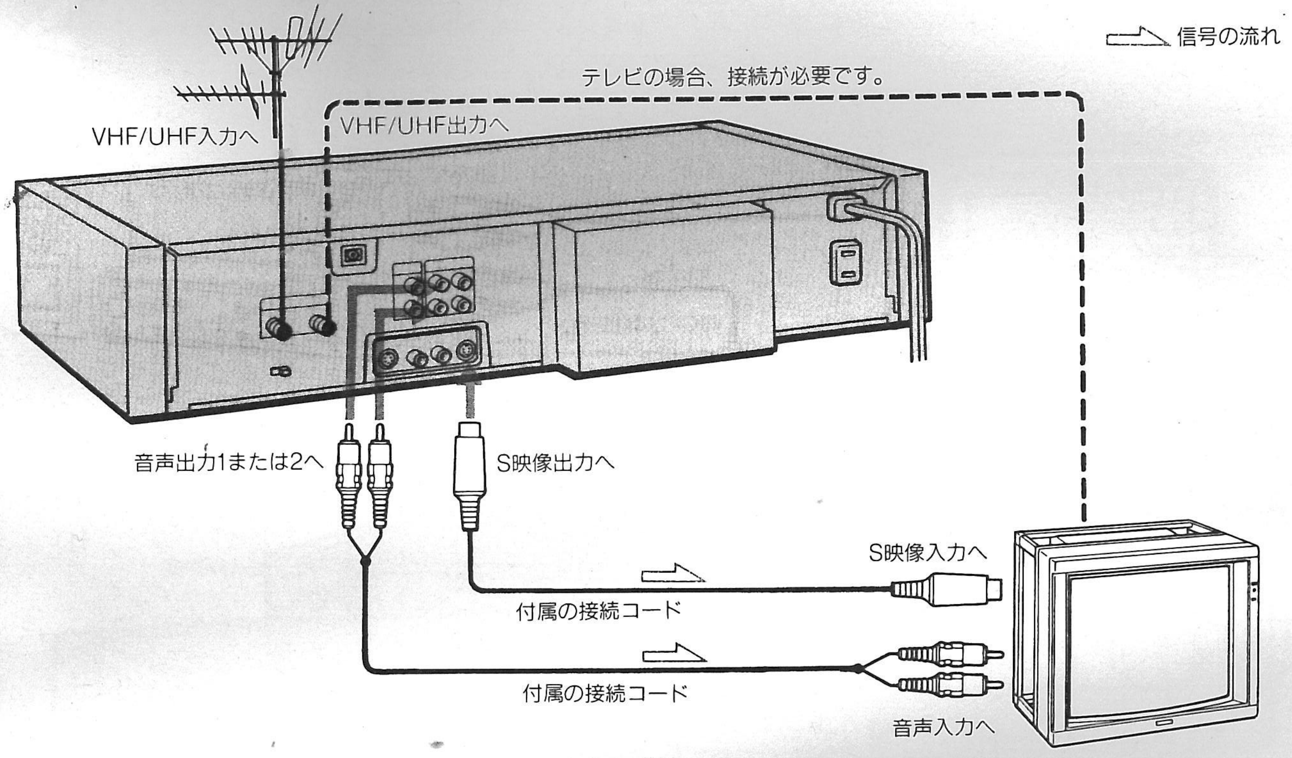
- ビデオデッキのTV/VTRボタンは操作に関係なくなります。
  準備③（㊿ページ）も必要ありません。
- モニターをつないだ場合、裏番組の録画はできません。

ビデオ2台とテレビをつなぐ場合

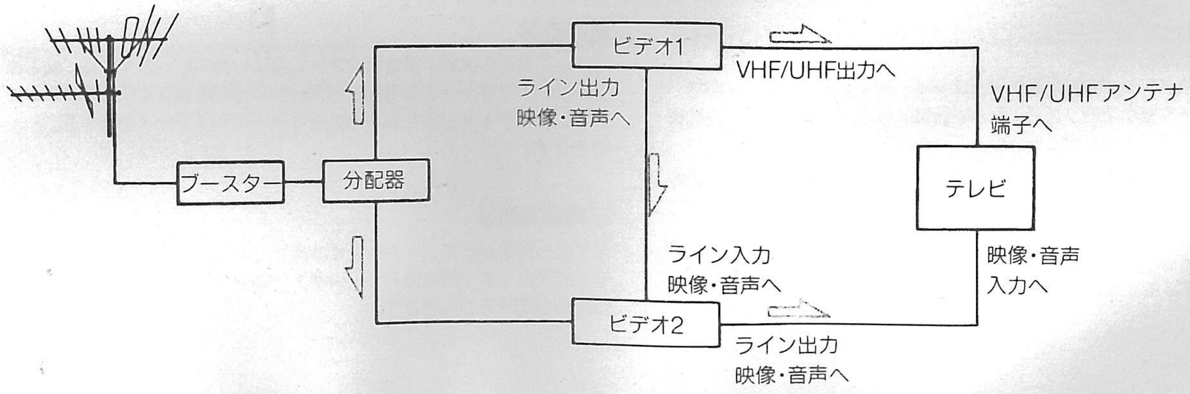
Ⓐアンテナ端子だけのテレビのとき



S映像入力端子付きのモニターまたはテレビをお持ちの場合

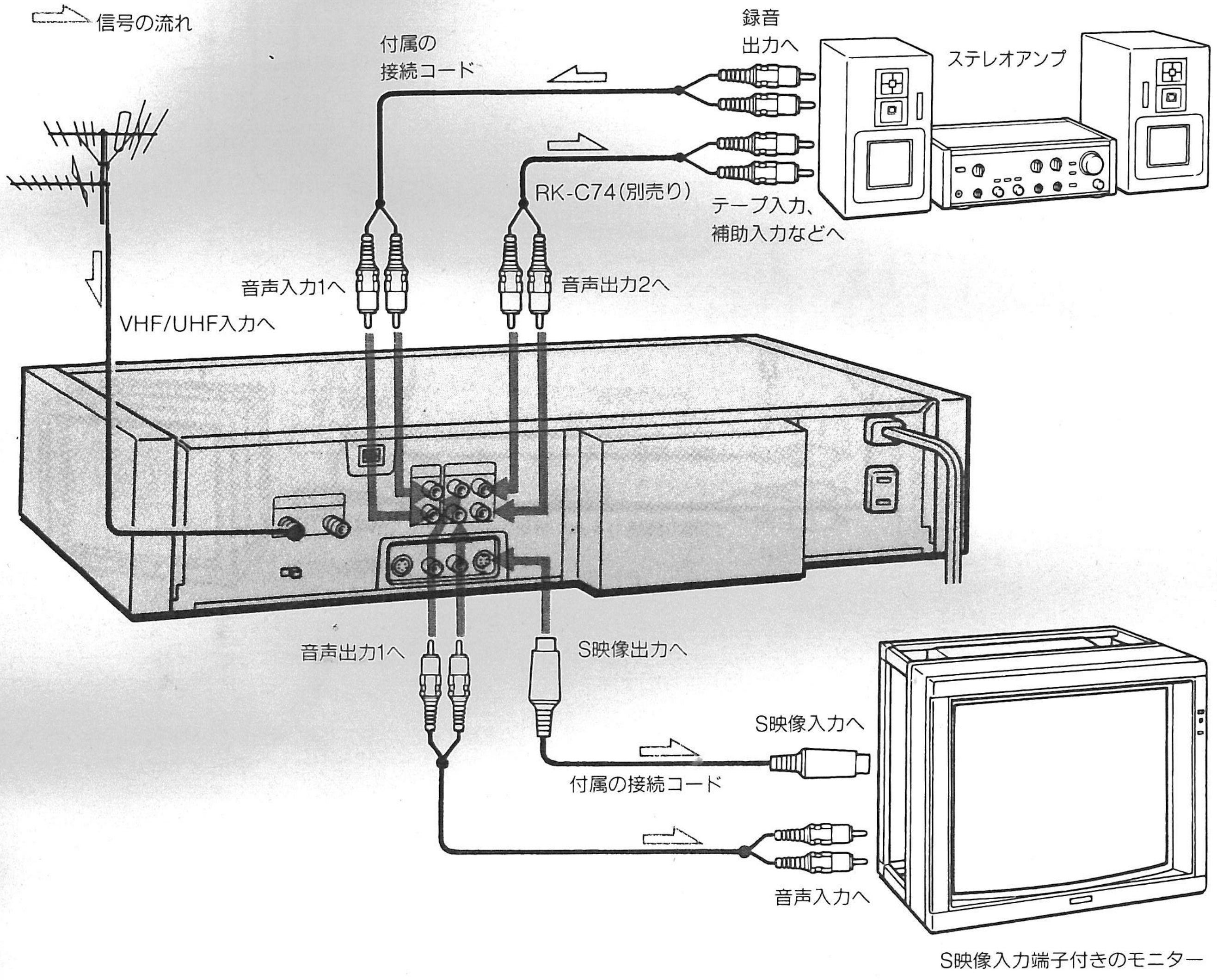


ⒷAV対応（映像・音声入力端子付き）テレビのとき



モニターとオーディオシステムをつなぐ

ベータハイファイビデオの性能を最大に発揮させるには、ステレオシステムにつなぐことをおすすめします。



ご注意

- チューナーやラジオの近くにビデオデッキを置くと、AM放送に雑音が入ることがあります。
- ベータハイファイ録音したテープはダイナミックレンジが広いので、突然の大音響により、スピーカーを破損することのないよう、音の確認をしながら再生してください。
- ビデオデッキの電源コードをコンセントにつないだり、抜いたりするときは、必ずステレオアンプの電源スイッチを切ってください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷める恐れがあります。
- ビデオデッキとテレビを近づけて置くとテレビの画面がゆれることがあります。その場合は離してお使いください。

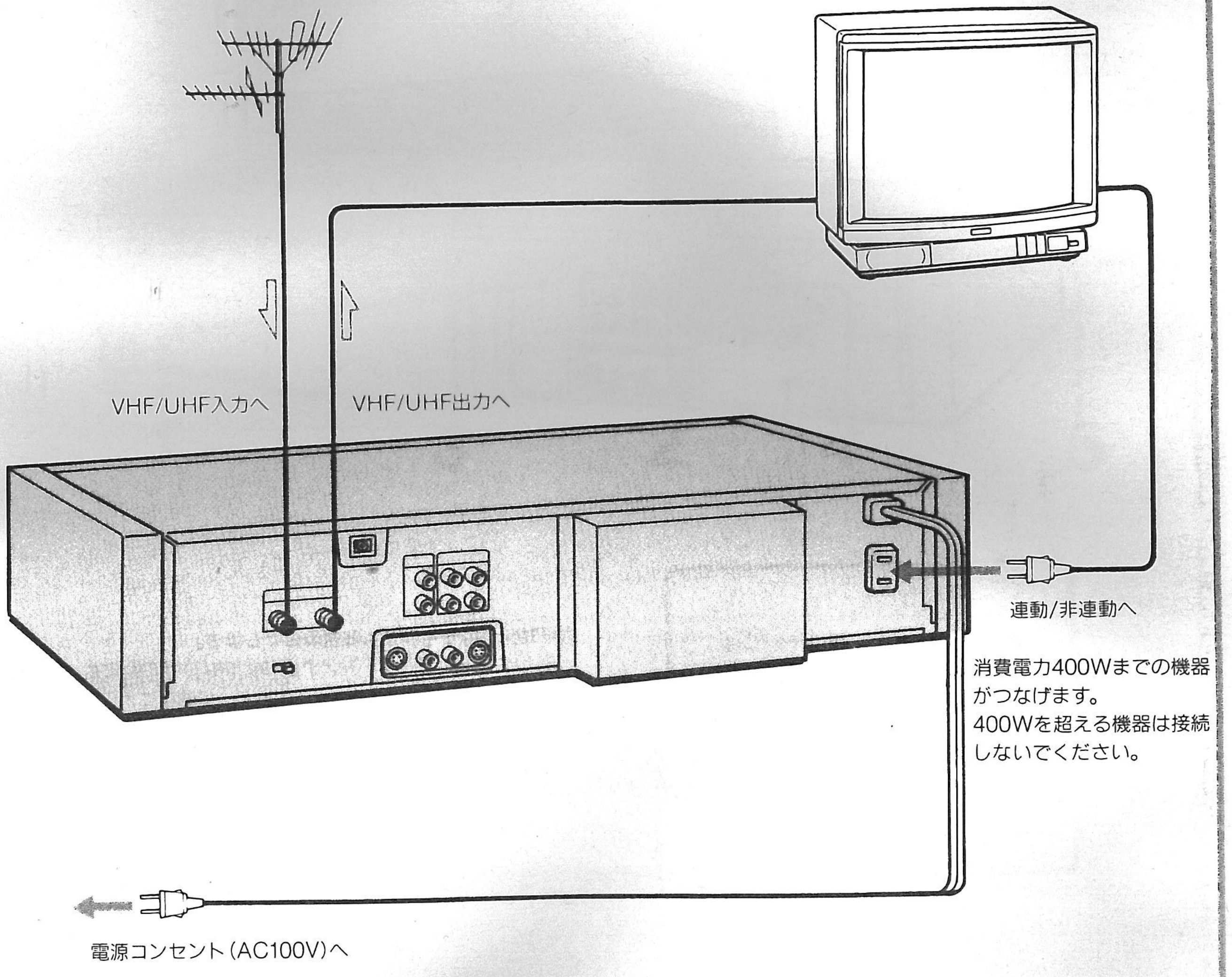
音の選択

ニュースなどの番組の音はモニターに接続したスピーカーから、音楽番組はオーディオシステムのスピーカーからというような使い分けができます。オーディオシステムからの音をベータハイファイ録音することもできます。

裏番組録画は

モニターにテレビチューナーを組み合わせます。
テレビチューナーの音声入力、映像入力端子とビデオデッキの音声出力、映像出力端子をつなぎます。

2 ビデオデッキとテレビの電源コードをコンセントにつなぎます。

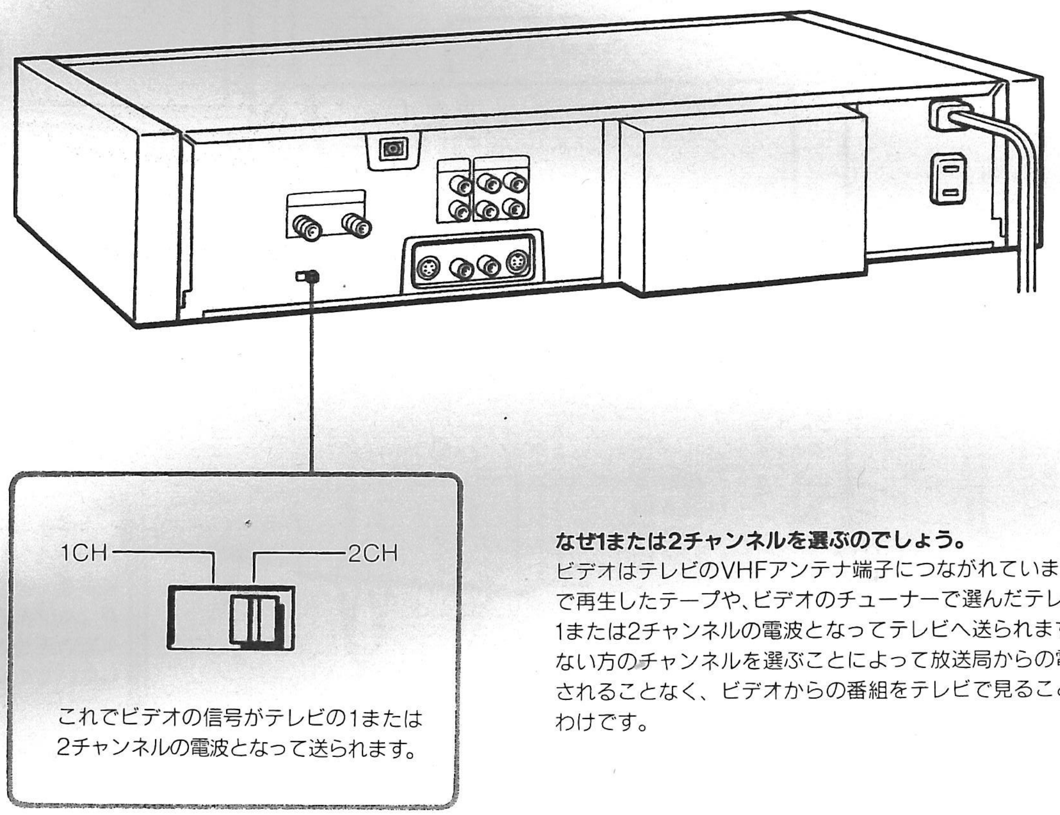


ここまでの準備が済めば、ビデオデッキの電源スイッチを切ったままで、テレビをふつうに見ることができます。(BS ON LINEスイッチがOFFの場合のみ)

テレビの電源コードが壁のコンセントにつながれているときは、ビデオデッキの電源コードを抜いてもテレビは映ります。

3 ビデオ用チャンネルを設定します。（テレビが本機のVHF/UHF出力端子につないであるとき）

ビデオの裏面にあるチャンネル切り換えスイッチを放送のない方のチャンネルに合わせます。



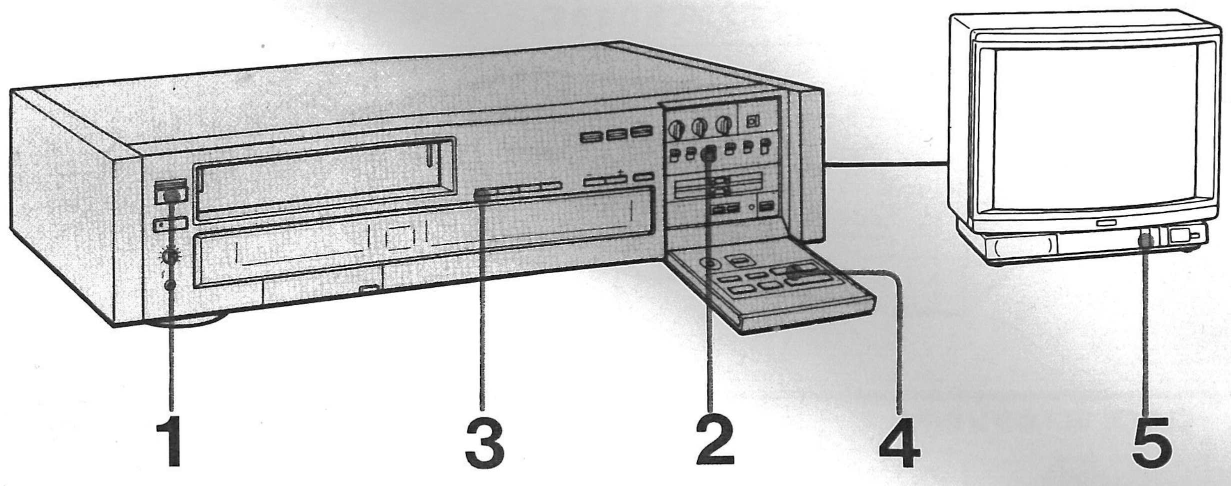
これでビデオの信号がテレビの1または2チャンネルの電波となって送られます。

なぜ1または2チャンネルを選ぶのでしょう。
ビデオはテレビのVHFアンテナ端子につながれています。ビデオで再生したテープや、ビデオのチューナーで選んだテレビ番組は、1または2チャンネルの電波となってテレビへ送られます。放送のない方のチャンネルを選ぶことによって放送局からの電波に妨害されることなく、ビデオからの番組をテレビで見ることができるわけです。

ビデオ用チャンネルが2チャンネルの場合

テレビの2チャンネルでテレビ番組またはビデオの再生画像を見ていて、テレビを1チャンネルに換えるとき、先にテレビを1チャンネルに換えてからTV/VTRボタンを押すとテレビによっては画面に何も映らないことがあります。この場合、テレビを他のチャンネルに換えてからもう一度1チャンネルに換えてください。

テレビの1または2チャンネルをビデオ用のチャンネルにします。



1 **電源を入れる。**

2 **INPUT SELECTスイッチをTUNERにする。**

3 **TV/VTRボタンを押して表示窓にVTR表示を点灯させる。**

4 **放送のあるチャンネルを選ぶ。**

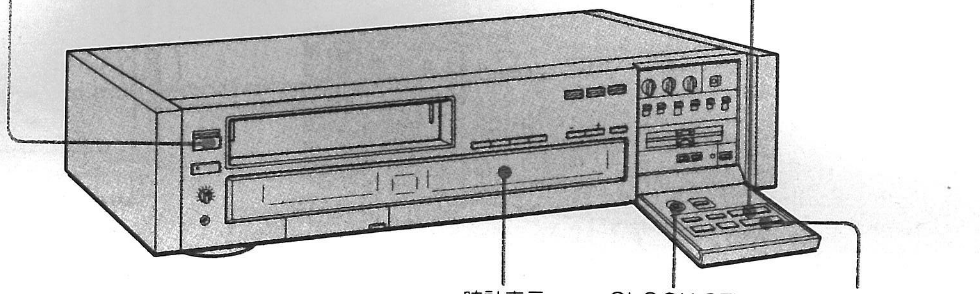
5 **テレビの電源を入れ、1または2チャンネル（㊿ページで選んだ方）に合わせる。**
4で選んだチャンネルの画像が映る。

4 時計を合わせます。

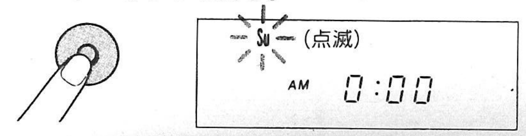
この時計は12時間方式です。表示窓にはAM(午前)、PM(午後)の表示がでます。
真夜中は「AM0:00」、正午は「PM0:00」となります。
テレビ、ラジオ、電話(117番)などの時報を利用して、時計を合わせます。

電源が切れていても合わせられます。

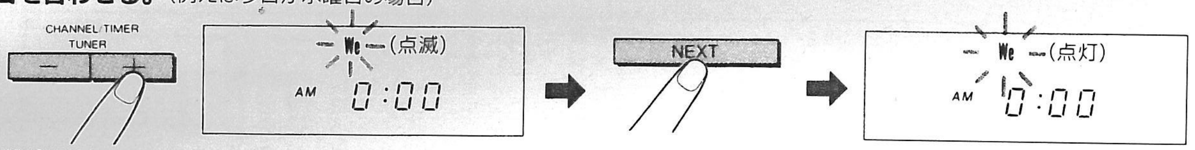
CHANNEL/TIMER −/+ボタンで合わせます。
1回押すたびに数字や曜日が1つづつ変わります。押し続けると表示が次々と速く変わります。



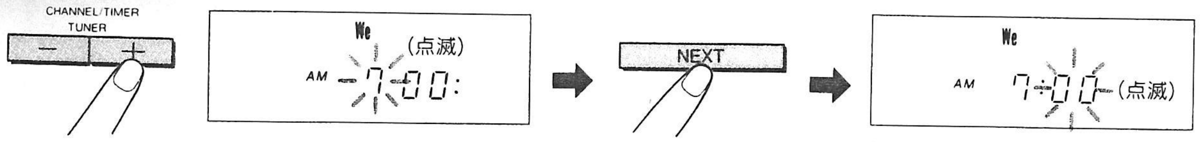
1 **CLOCK SETボタンを押す。**

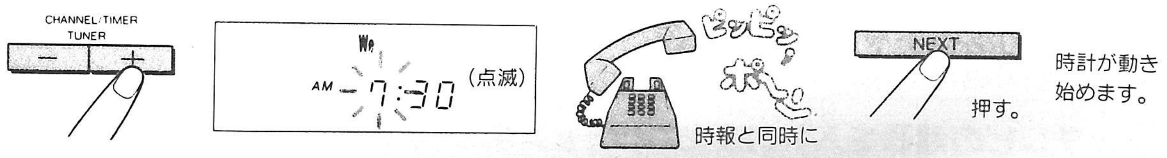


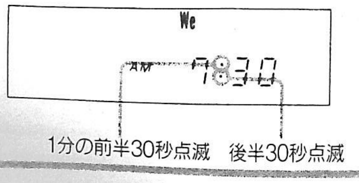
2 **曜日を合わせる。**（例えば今日が水曜日の場合）



3 **時刻を合わせる。**（例えば午前7:30の場合）







停電があったときは
「AM0:00(Su)」が点滅し、時計が止まります。時計を合わせ直すことが必要です。タイマー予約してあるときは、予約内容も消えてしまいますので、時計を合わせてから予約し直してください。

これで準備完了
説明書の最初に戻って、録画・再生を始めましょう。

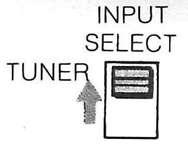
UHF放送を受信するには

このビデオでは、12の放送チャンネルを受信することができます。お買い上げ時には、
VHFの1〜12チャンネルが順に映るように設定されています。
UHFの13〜62チャンネルを見たいときは次の例に従って設定し直してください。

1 テレビの電源を入れ、ビデオ用のチャンネルにする。

AV対応テレビの場合は「ビデオ入力」にする。

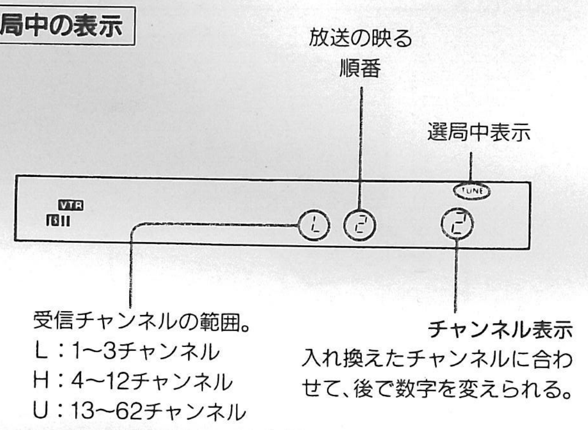
2 INPUT SELECTスイッチをTUNERにする。

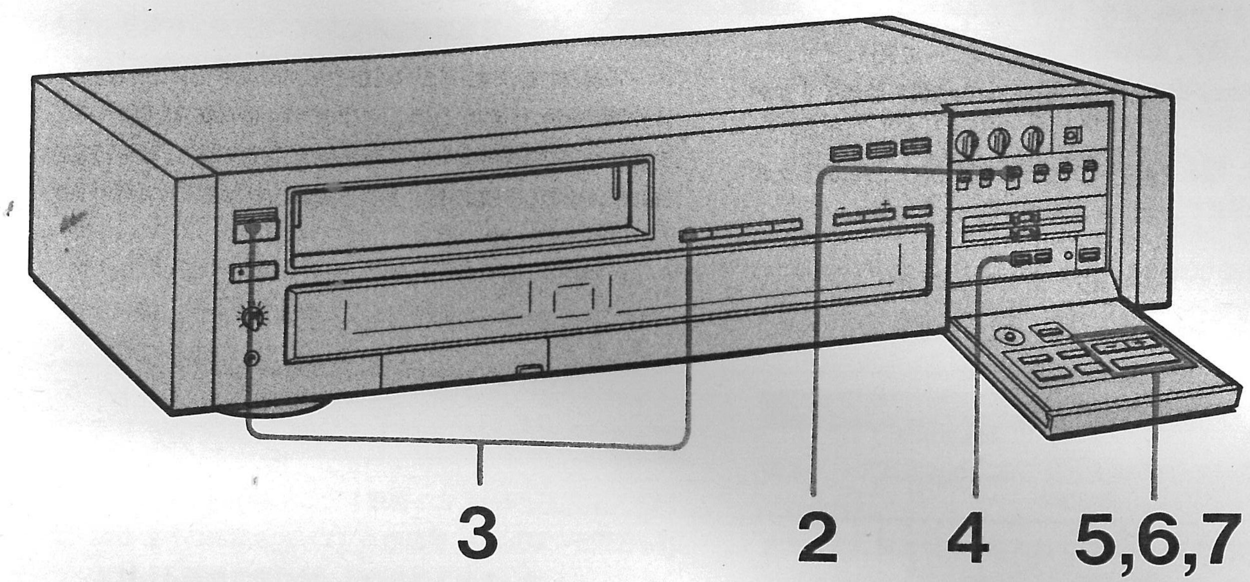


例 5番目にUHFの41チャンネルを入れたいとき

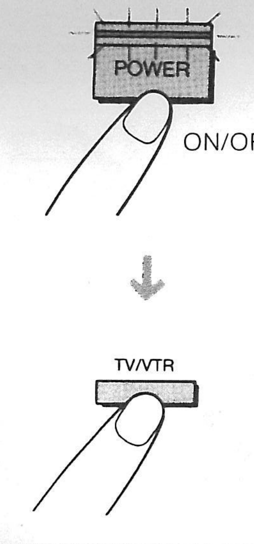
放送の映る順番	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
放送チャンネル	1	2	3	4	41	6	7	8	9	10	11	12
チャンネル表示	1	2	3	4	41	6	7	8	9	10	11	12

選局中の表示

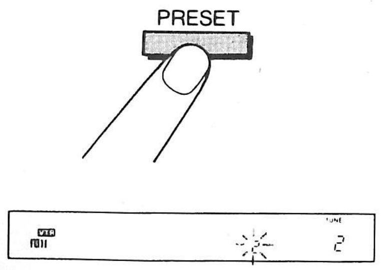




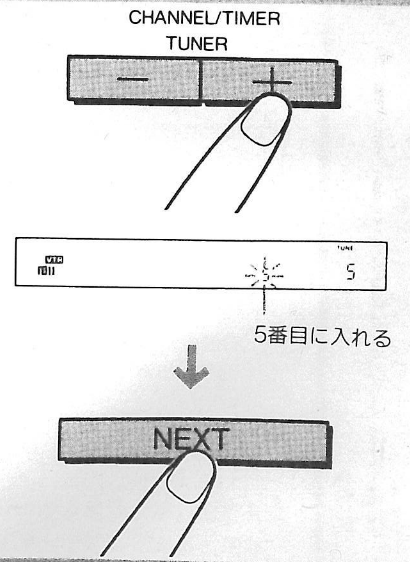
3 ビデオの電源を入れ、TV/VTRボタンを押してVTR表示を出す。



4 PRESETボタンを押す。

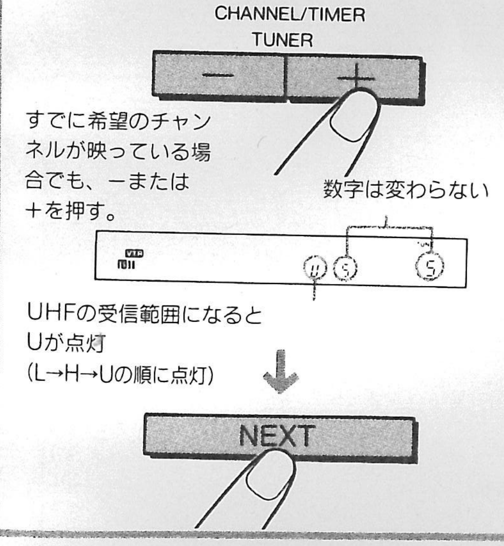


5 何番目に入れるかを選ぶ。

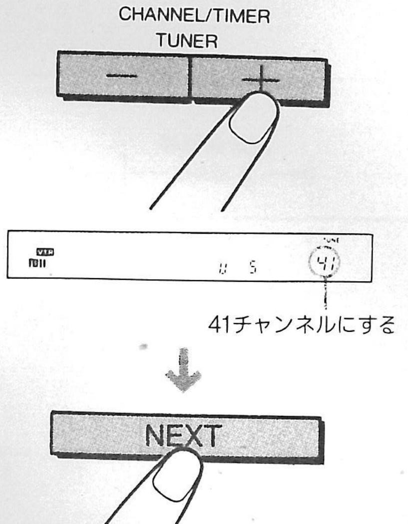


6 希望のチャンネルがテレビの画面に映るようにする。

(ここでは41チャンネル)



7 新しく入れたチャンネルの番号に表示を合わせる。



8 他にも入れたいチャンネルがあるときは、4〜7を繰り返す。

これでUHFのチャンネルをいつでも見ることができます。同様にして、放送チャンネルを好きな順序に変えることもできます。

チャンネルの微調整

ふつう、上の手順に従ってチャンネルをプリセットすると、自動微調整回路が働いて、鮮明な画像が得られます(選局中はAFTランプが点灯します)が、電波状態が悪くて画像が見にくいときだけ、次のようにして微調整してください。

1 FINE TUNEボタン（前面扉内部）を押す。
2 CHANNEL/TIMER ＋/− ボタンを押してもっときれいな画像が映るようにする。
3 NEXTボタンを押す。

いったん微調整を行うと、そのチャンネルには自動微調整回路が働きません。自動微調整回路を働かせるには上記の手順でそのチャンネルをプリセットし直してください。

放送のないチャンネルの画面と雑音を出さないようにするは

例えば7チャンネルの放送が行われていない場合は、6チャンネルの次にすぐ8チャンネルが映るように、7番目をとばすことができます。右のように操作します。一度とばした7番目に、上記の操作チャンネルを入れ直すこともできます。

1 CHANNEL/TIMER＋/−ボタンで放送のないチャンネルを選ぶ。
2 PRESETボタンを押す。
3 CLEARボタンを押す。
画面には何も映らなくなる。(チャンネル表示が「−−」となる。)
他にも放送のないチャンネルがある場合は1〜3繰り返す。

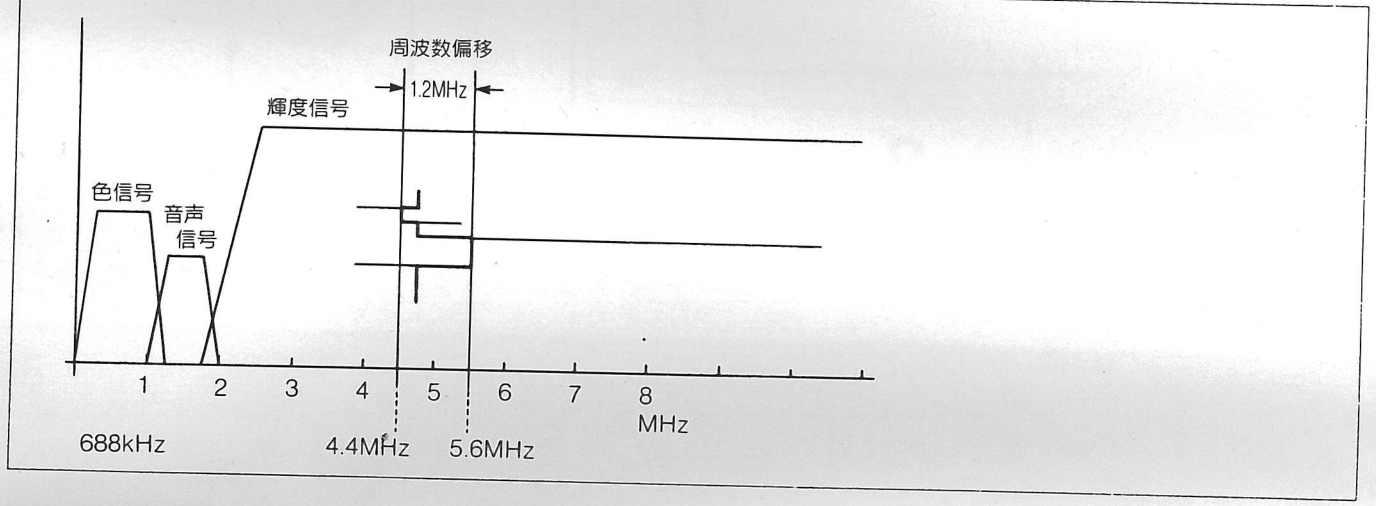
EDベータフォーマットについて

ベータ方式は、大口径ヘッドドラムの採用により、ヘッドとテープの相対速度が速いため、記録できる情報量が多く、高画質化に適しています。高画質化にあたり、ソニーはβI sモードにおいて6.0MHzSHBハイバンド方式による画質の改善をすすめてきました。
EDベータは、βII、βIIIモードでの高画質化をさらに図るため開発された方式で、次のような特長をもっています。

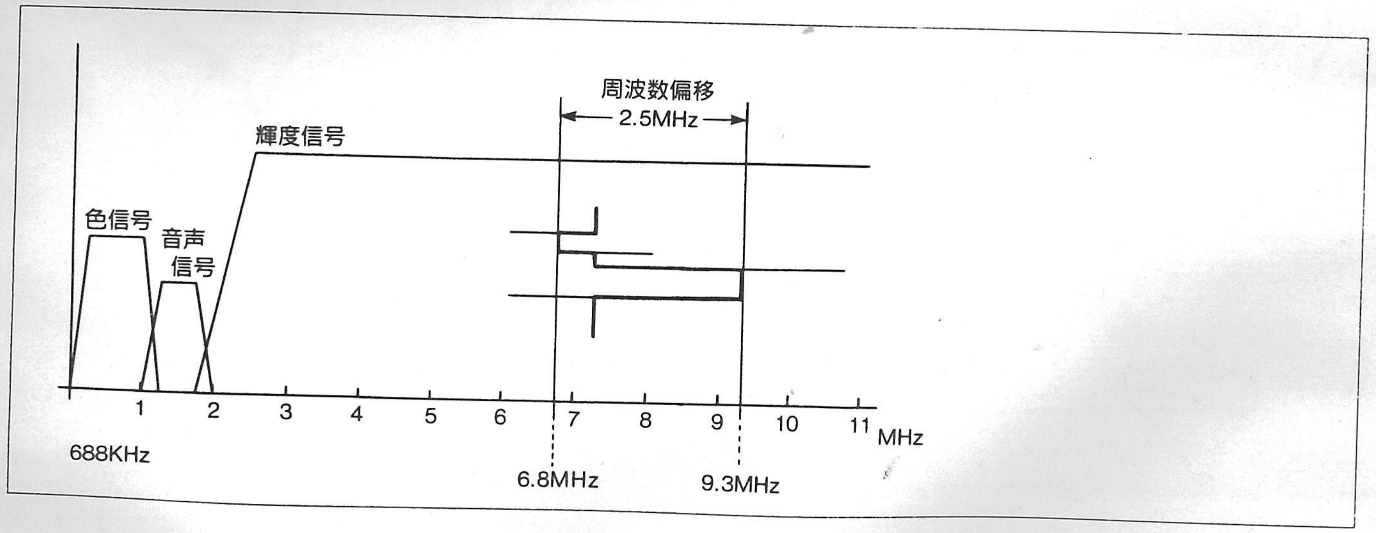
超ハイバンド化による飛躍的な高画質

画質の決め手となる情報量の拡大は、ハイバンド化することによって解決できます。EDベータでは輝度信号記録のFM信号周波数帯域を、ハイバンドベータ方式の4.4MHz〜5.6MHzから6.8MHz〜9.3MHzにまで高めました。これにより、水平解像度500本以上という高画質をお楽しみいただけるようになりました。

ハイバンドベータ方式の周波数アロケーション



EDベータ方式の周波数アロケーション



メタル磁性体テープの採用

メタル磁性体テープは保磁力が高く、高密度記録が可能なため、ビデオシステムでは最適の記録メディアといえます。EDベータではメタル磁性体テープを採用し、映像信号に必要な帯域を十分にカバーしていますので高品位な映像を記録/再生できます。また、音声の記録/再生においても、優れた周波数特性、S/N比を得られます。(ノーマルオーディオトラックの音質についても同様です。)メタル磁性体テープの特性を最大限に発揮するためのヘッドは、新開発のTSS(ティルテッド センダスト スパッタ)ヘッドです。

S映像(Y/C分離)入出力端子

これまでビデオ機器間、ビデオ機器とカラーテレビなどの間では、映像信号は輝度信号(Y)と色信号(C)の2つを混合したコンポジット信号で受け渡しが行われてきました。
このため、信号間に干渉が生じ、画質劣化の大きな要因でした。本機のように、輝度信号(Y)と色信号(C)を分離したまま入出力すると、髪の毛の1本1本がはっきり見える、縞模様がちらつかずきれいに見えるなど、ちらつきや色のにじみの少ない鮮明を画像を再現できるようになります。
テープ編集時にこのS映像入出力端子を使うことにより、画質劣化の非常に少ない編集が楽しめます。

従来機との互換性

- ED Beta カセットテープを、従来機で記録・再生することはできません。
- 従来のβカセットテープを本機で記録・再生することはできます。また、本機で記録したβカセットテープを従来機で再生することもできます。
- EDベータでは、従来のベータ方式と同様に βII / βIII のテープスピードを採用していますので、L-500相当のテープを使用すれば、2時間/3時間の録画・再生できます。

検出孔付きカセットの採用

従来ベータ方式のビデオで ED Beta カセットの記録、再生はできません。
また本機にβカセットを入れて、EDベータ方式の記録をすることはできません。
誤使用を防ぐため ED Beta カセットには検出孔を設け、本機に使用する際、ED Beta 表示が点灯してカセットは自動判別されるようになっています。

主な仕様

このビデオテッキは、日本国内用です。
電源、電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャンFM方式
録音方式	ベータハイファイ方式(2チャンネル)、ステレオ再生、二重音声再生可能(従来の音声トラックはモノラル録音)
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	ED Betaまたはβマークのついたビデオカセット
テープ速度	βI、βIs:4.00cm/秒(再生のみ) βII:2.00cm/秒 βIII:1.33cm/秒
最大録画・再生時間	βII:200分 βIII:300分 (ビデオカセットL-830使用時)
早送り、巻き戻し時間	約5分30秒(ビデオカセットL-500使用時)
音声周波数特性	20Hz〜20kHz
ダイナミックレンジ	90dB
ワウ・フラッター	0.005% WRMS以下

チューナー部

受信方式(音声)	スーパーインターキャリアロック式
受信チャンネル	VHF:1〜12チャンネル UHF:13〜62チャンネル
アンテナ入力端子	VHF/UHF:75ΩF型コネクター
アンテナ出力端子	VHF/UHF:75ΩF型コネクター

入出力端子

映像入力	ピンジャック(1)×2系統 (LINE IN 2は金メッキ型) 入力信号:1Vp-p、75Ω不平衡、同期負
S映像入力	4ピンミニDIN 輝度信号:1Vp-p、75Ω不平衡、同期負 色信号:0.286Vp-p、75Ω不平衡
映像出力	ピンジャック(1) 出力信号:1Vp-p、75Ω不平衡、同期負
S映像出力	4ピンミニDIN 輝度信号:1Vp-p、75Ω不平衡、同期負 色信号:0.286Vp-p、75Ω不平衡
音声入力	ピンジャック(2)×2系統 (LINE IN 2は金メッキ型) 入力レベル:−10dBs(0dBs=0.775Vrms) 入力インピーダンス:47kΩ以上
音声出力	ピンジャック(2)×2系統 規定出力:−10dBs 47kΩ負荷時 負荷インピーダンス:10kΩ以上
コントロールS入力	ミニジャック(1)
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック(1) 8Ωヘッドホン用

タイマー部

時間同期方式	電源同期型
時刻表示	12時間方式
タイマーセット	録画専用、1週6プログラム

電源部、その他

電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	40W
補助電源コンセント	連動/非連動1個:最大400Wまで
動作温度	5°C〜40°C
保存温度	−20°C〜+60°C
最大外形寸法	468×110×410mm(幅/高さ/奥行き) (サイドウッド含む)
重量	10.2kg(サイドウッド含む)
付属品	リモートコマンダーRMT-166(1) F型コネクター付き同軸ケーブル(1) 接続コード(ピンプラグ2↔ピンプラグ2)(1) S映像用接続コード (4ピンミニDIN↔4ピンミニDIN)(1) 300Ωフィーダー線(1) アンテナ整合器(1) アンテナ混合器(1) ビス(4) 取扱説明書(1) サービス窓口・ご相談窓口のご案内(1) 保証書(1) 単3乾電池(2) クリーニングカセット(1)

リモートコマンダーRMT-166

リモコン方式	赤外線パルス式
電源	DC3V 乾電池SUM-3型(IEC呼称R6)2個使用
最大外形寸法	43×20×174mm(幅/高さ/奥行き)
重量	約65g(乾電池含まず)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

故障かな?

修理にお出しになる前にもう一度点検してみましょう。

	症状	原因
電源	電源が入らない。	●電源コードが抜けている。 ●TIMER REC表示がついている。
電源	電源が入っているのに動かない。	●各種安全装置が働いている。電源を切って電源コードを抜き、約5分後再びコンセントにつないでください。
時計	時計が「AM 0:00(SU)」で点滅している。	●停電があった。時刻合わせしてからお使いください。
録画・再生	録画中の画像がきれいに映らない。	●テレビのビデオ用チャンネルが正確に合っていない。(㊿ページ) ●ビデオデッキのチャンネル合わせが十分でない。 ●テレビ電波が弱い。アンテナの向きなどを調整するか、別売りのアンテナブースターを使う。
録画・再生	録画や再生の画像がテレビに出ない。	●TV/VTRボタンの切り換えが正しくない。 ●テレビやモニターがビデオ用のチャンネル(1か2)や「ビデオ」入力になっていない。
録画・再生	録画ができない。	●カセットが入っていない。 ●テープが最後まで巻きとられている。 ●カセットのツメが折れている。 ●INPUT SELECTスイッチが正しく設定されていない。
録画・再生	音声多重放送の主(左)または副(右)音声が録音されなかった。	●録音中、REC LEVELつまみのLEFTまたはRIGHTつまみが「0」になっていた。
録画・再生	再生画像がきれいに映らない。	●テレビのビデオ用チャンネルが正確に合っていない。 ●HI-BANDスイッチをONで録画したテープをOFFで再生している。 ●TRACKING NORMAL調節つまみが合っていない。 ●ビデオヘッドの汚れ。 ●ヘッドが摩耗している。 ●SHARPNESSつまみが合っていない。
録画・再生	ピクチャーサーチ中、または高速アクセス、デジタルスキャン中に画像が上下に流れる。	●テレビの垂直同期つまみが合っていない。
録画・再生	スロー再生中、画面が乱れる。	●録画モード(βI、βIs、βII、βIII)の自動判別ができない。いったんテープを通常の再生状態にし、もう一度スロー再生を行ってください。 ●TRACKING SLOW調節つまみが合っていない。
録画・再生	ベータハイファイ録音したテープに音飛びがある。	●テープに傷がある。(新しいテープをお使いください。)
録画・再生	ステレオ放送がステレオで記録できない。	●AUTO STEREOスイッチがOFF(モノラル)になっている。
録画・再生	音が割れたり、雑音が多い。	●REC LEVELつまみの位置が高すぎる、あるいは低すぎる。
録画・再生	二重音声放送を録画したテープを再生すると主音声と副音声が両方聞こえる。	●AUDIO MONITORボタンでSTEREOを選んでいる。(MAINまたはSUBを選ぶ。)(⑰ページ) ●他のビデオデッキで従来トラックに録音された二重音声放送を本機で再生している。
録画・再生	ステレオまたは二重音声の番組を録画中、音声がモノラルまたは主音声だけ聞こえる。	●AUDIO MONITORスイッチがNORMになっている。

故障かな?

	症　状	原　因
タイマー録画	タイマー予約時刻が合わせられない。	●時計を合わせていない。
	TIMER RECまたはQUICK TIMERボタンを押すと、カセットが出てくる。	●カセットのツメが折れている。
	TIMER RECボタンを押してもTIMER RECの表示が点灯しない。	●テープが終わりになっている。 ●カセットが入っていない。
	タイマー録画ができなかった。	●停電があった。 ●TIMER RECボタンを押していなかった。 ●テープが終わりになっていた。 ●時計が正しく合わせられていなかった。
その他	リモコンが働かない。	●電池が消耗している。 ●リモコンのリモコンモード切り換えスイッチとビデオデッキのCOMMAND MODEスイッチの位置が合っていない。 ●コントロールS入力端子に他の機器をつないだ状態で本機を操作している。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?」の項を参考にして、故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「サービス窓口、ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

当社はビデオデッキの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。

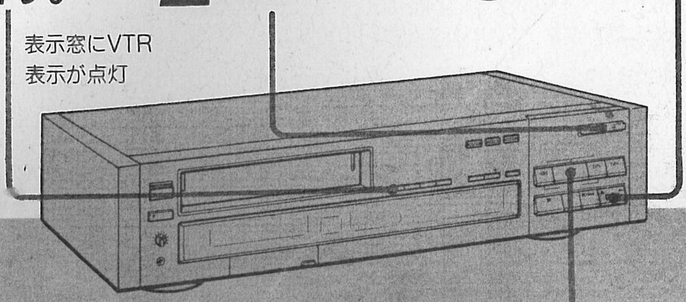
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- ■ **型名**　**EDV-5000**
- ■ **故障の状態**　**できるだけ詳しく**
- ■ **購入年月日**

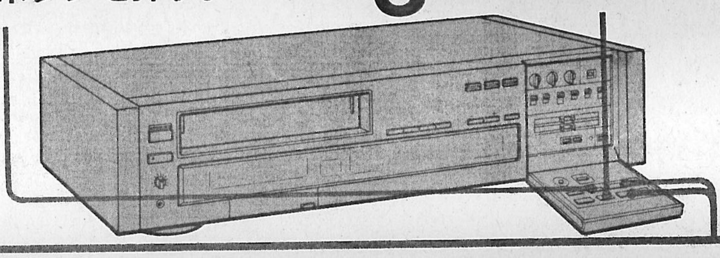
保証書と

早わかり

	準備	操作	つまみ類の位置
テレビの録画	●テレビの電源を入れ、ビデオ用のチャンネル(1か2)を選びます。	1 TV/VTRボタンを押す。 表示窓にVTR表示が点灯 2 チャンネルを選ぶ。 3 RECスイッチを右に押す。	INPUT SELECT →TUNER REC LEVEL →「5」 REC MODE→ βⅡまたはβⅢ AUTO STEREO →ON
テープの再生	●電源を入れ、カセットを入れます。	1 ▶(再生)ボタンを押す。	HI-BAND (「ON」で記録した場合は) →ON

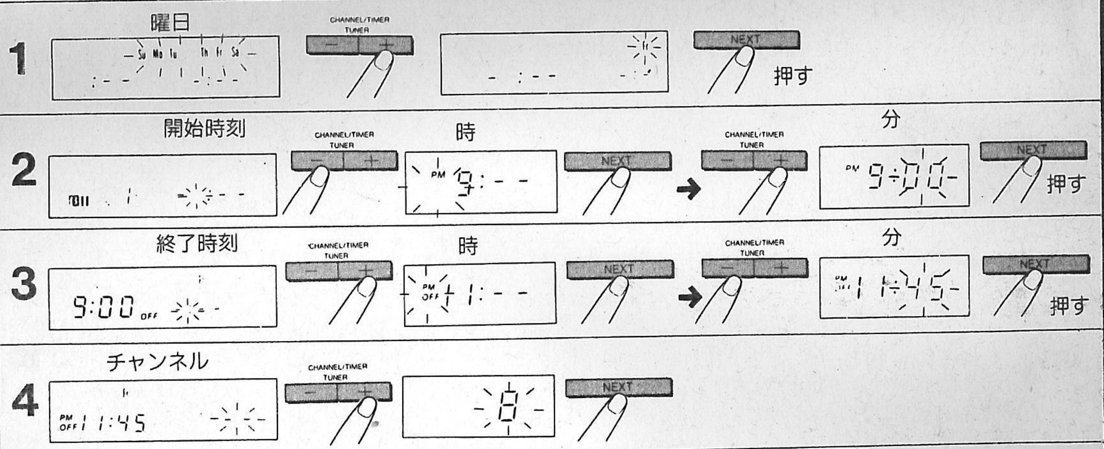


	準備	操作	つまみ類の位置
タイマー録画	●時計が合っているか確かめます。 ●電源を入れ、カセットを入れます。	1 TIMER SETボタンを押す。 3 TIMER RECボタンを押す。	INPUT SELECT →TUNER REC LEVEL →「5」 REC MODE→ βⅡまたはβⅢ AUTO STEREO →ON



2 点滅している表示を合わせ、NEXTを押す。

例：金曜日午後9時から午後11時45分まで8チャンネルの録画を予約するには



5 表示は、カウンターと現在時刻に戻ります。

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●東京(03)448-3311 ●大阪(06)251-5111 ●名古屋(052)232-2611